

## 出雲未来図の検証結果



# 目次

|      |                                   |    |
|------|-----------------------------------|----|
| I.   | 総合振興計画「出雲未来図」の評価・検証について.....      | 1  |
| 1.   | 総合振興計画「出雲未来図」で目指したまちづくりの将来像.....  | 1  |
| 2.   | 将来像実現への基本方策及び戦略プロジェクトの検証について..... | 2  |
| 3.   | 検証結果（総括）について.....                 | 2  |
| II.  | 4つの戦略プロジェクト 評価検証.....             | 4  |
| 1.   | 雇用創出2, 500人プロジェクト.....            | 4  |
| 2.   | 定住人口キープ17万人プロジェクト.....            | 8  |
| 3.   | 交流人口1200万人プロジェクト.....             | 11 |
| 4.   | 住みやすさNo.1プロジェクト.....              | 15 |
| III. | 6つの基本方策の評価検証.....                 | 24 |
| 1.   | 安全・安心都市の創造.....                   | 24 |
| (1)  | 防災都市の整備.....                      | 24 |
| (2)  | 地域内交通対策.....                      | 27 |
| (3)  | ゆとりと潤いのある居住空間の整備.....             | 28 |
| (4)  | 情報共有できる高度情報通信社会の実現.....           | 31 |
| 2.   | 産業・観光都市の創造.....                   | 32 |
| (1)  | 商工・サービス業の振興と発展.....               | 32 |
| (2)  | 農林水産業の振興と発展.....                  | 35 |
| (3)  | 特産品開発とブランド化の推進.....               | 38 |
| (4)  | 歴史文化遺産と観光資源の発信.....               | 40 |
| (5)  | 観光ネットワークの整備と拡充.....               | 41 |
| 3.   | 環境・文化都市の創造.....                   | 42 |
| (1)  | 環境先進都市の構築.....                    | 42 |
| (2)  | 地球温暖化・省エネルギー対策.....               | 44 |
| (3)  | 芸術文化・スポーツの振興.....                 | 45 |
| 4.   | 交流拠点都市の創造.....                    | 47 |
| (1)  | 都市機能の充実.....                      | 47 |
| (2)  | 広域交通網の整備.....                     | 48 |
| (3)  | 地域内幹線道路の整備.....                   | 50 |
| (4)  | 広域連携・他圏域との交流.....                 | 51 |
| 5.   | 健康・福祉都市の創造.....                   | 53 |
| (1)  | 生涯にわたる健康づくりの推進.....               | 53 |
| (2)  | ぬくもりのある福祉サービスの充実.....             | 55 |
| (3)  | 地域特性を生かした医療体制の充実.....             | 59 |
| (4)  | 保健医療・福祉の連携強化.....                 | 60 |

|     |                             |    |
|-----|-----------------------------|----|
| 6.  | 人材育成都市の創造 .....             | 61 |
| (1) | 子ども・若者の育成・支援 .....          | 61 |
| (2) | お互いを思いやり、尊重しあうまちづくりの推進..... | 63 |
| (3) | 生きる力と夢を育む教育体制の充実.....       | 66 |
| (4) | 地域を支えるひとづくりと住民参画の推進.....    | 71 |

## 1. 総合振興計画「出雲未来図」で目指したまちづくりの将来像

出雲未来図では、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」をまちづくりの将来像とし、その実現に向け、「安全・安心都市の創造」「産業・観光都市の創造」「環境・文化都市の創造」「交流拠点都市の創造」「健康・福祉都市の創造」「人材育成都市の創造」の6つの基本方策を掲げました。

また、基本方策を進めるにあたり、市をあげて取り組む4つのテーマを戦略プロジェクトとして施策を展開し、特に重点的に取り組んできました。

## まちづくりの将来像、6つの基本方策

## まちづくりの将来像

**げんき、やさしさ、しあわせあふれる  
縁結びのまち 出雲**

- ・市民が元気にくらし、産業が盛んな元気なまち
- ・人の優しさを感じる、笑顔と幸せあふれるまち
- ・あらゆるご縁を大切にし、誇りと愛着を持てるまち

## 将来像実現への基本方策



## 行財政改革の推進

## 4つの戦略プロジェクト

雇用創出2,500人  
プロジェクト

定住人口キープ 17万人  
プロジェクト

交流人口 1,200 万人  
プロジェクト

住みやすさ No.1  
プロジェクト

※計画年度期間中に目標を達成した2つのプロジェクトについて、後期基本計画（平成29年度～令和3年度）策定時から、目標を上方修正しました。

「雇用創出2,000人プロジェクト」⇒「雇用創出2,500人プロジェクト」

「交流人口1,000万人プロジェクト」⇒「交流人口1,200万人プロジェクト」

## 2. 4つの戦略プロジェクト及び6つの基本方策の検証について

4つの戦略プロジェクトについて、過去9年間の推移を示し、達成内容を検証しました。

6つ基本方策ごとに掲げた諸施策については、これまでの取組内容と達成状況を検証し、それらを踏まえて見えてきた課題及び今後の方向性について示しています。

また、平成28年度の後期基本計画策定時に設定した各基本方策の諸施策の数値目標に対する直近（令和2年度）の達成状況、達成率（※）も示しています。

$$\text{※目標達成率（％）} = \frac{(\text{R2年度の実績値} - \text{H27年度実績値})}{(\text{R3年度後期基本計画の目標値} - \text{H27年度実績値})} \times 100$$

## 3. 検証結果（総括）について

重点的に取り組んできた4つの戦略プロジェクトを中心に、次のとおり出雲未来図を総括します。

「雇用創出2,500人プロジェクト」については、企業誘致や地場産業の振興、出雲ブランドの推進や産官学連携による新産業の創出などの取組により、平成24年度から令和2年度までの9年間で新規の正規雇用を2,878人創出することができ、目標を大きく上回ることができました。

このことは、「定住人口キープ17万人プロジェクト」にもつながっています。また、雇用創出のほか、UIターンなどの定住支援策や多文化共生推進の取組などにより、定住人口の17万人をキープしている状況です。なお、令和2年の国勢調査の島根県速報値において、県内8市で唯一、人口が増加しました。

「交流人口1,200万人プロジェクト」については、計画期間中に執り行われた出雲大社の大遷宮及びその周辺整備や、官民協働による観光振興、また遷宮効果を持続させるためのプロジェクトなどにより、目標を達成することができました。

「住みやすさNo.1プロジェクト」については、市民満足度調査の結果を指標としていますが、令和元年度に実施した市民満足度調査では「住みやすいと感じる人」の割合が86%、「住み続けたい

とを感じる人」の割合が８３％であり、目標の９０％に近い数値となるなど、一定の成果を示すことができました。

しかしながら、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響は、産業、観光、文化などに多大な影響を及ぼしています。

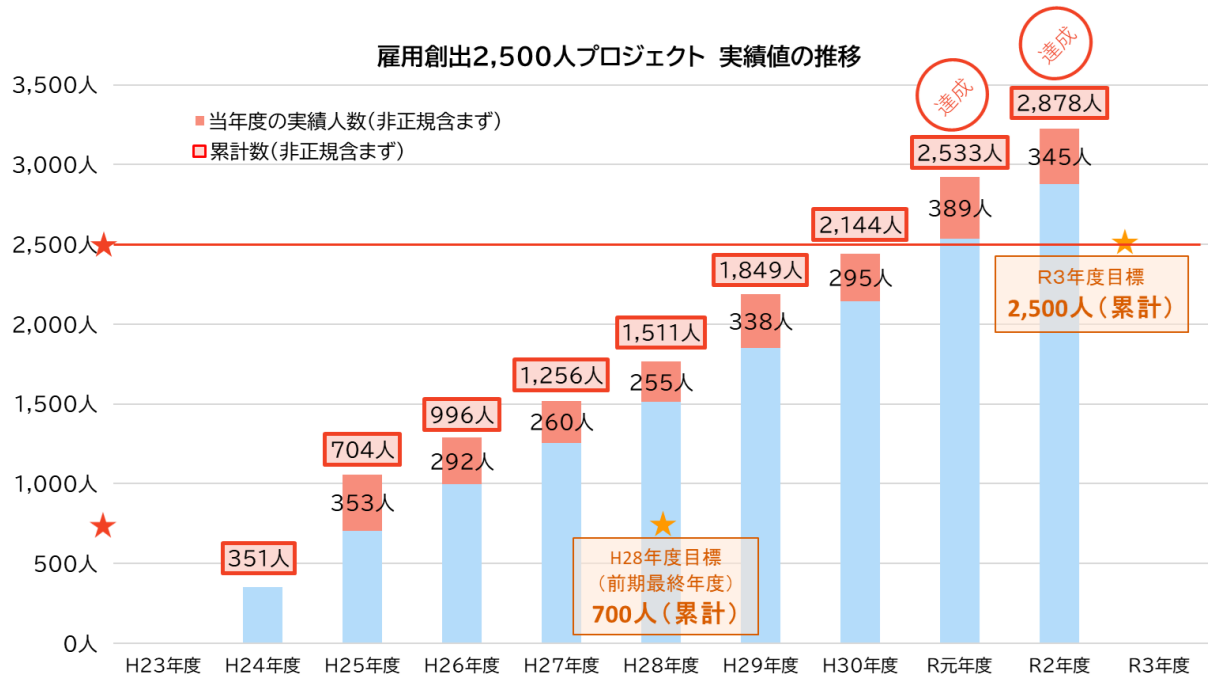
今後は、ウィズコロナに対応する新たな視点を持ちながら、持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

## II.

## 4つの戦略プロジェクト 評価検証

### 1. 雇用創出2,500人プロジェクト

#### ① 数値目標に対する達成度（毎年の推移）



出典：出雲市 産業政策課全庁調査結果

#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                               | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                      | 担当課   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (1) 農林水産業の振興                                                                                                                            |                                                                                                                                                                     |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能支払交付金については、取組面積の拡大につながった。</li> </ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能支払交付金事業が継続できるように支援を強化し、取組地域の拡大や組織の広域化をすすめていく。</li> </ul>                                                               | 農業振興課 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●宍道湖西岸地区の国営農地再編整備事業に着手した。</li> <li>●防災重点農業用ため池の指定を行った。</li> <li>●農林道施設の長寿命化修繕計画を策定した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●国営農地再編整備事業は、国・県と一体的に取り組む。</li> <li>●農業用ため池の廃止・修繕について、長期計画を策定し、基本的な方向性を示す必要がある。</li> <li>●農林道施設長寿命化修繕計画を計画的に実施する。</li> </ul> | 農林基盤課 |



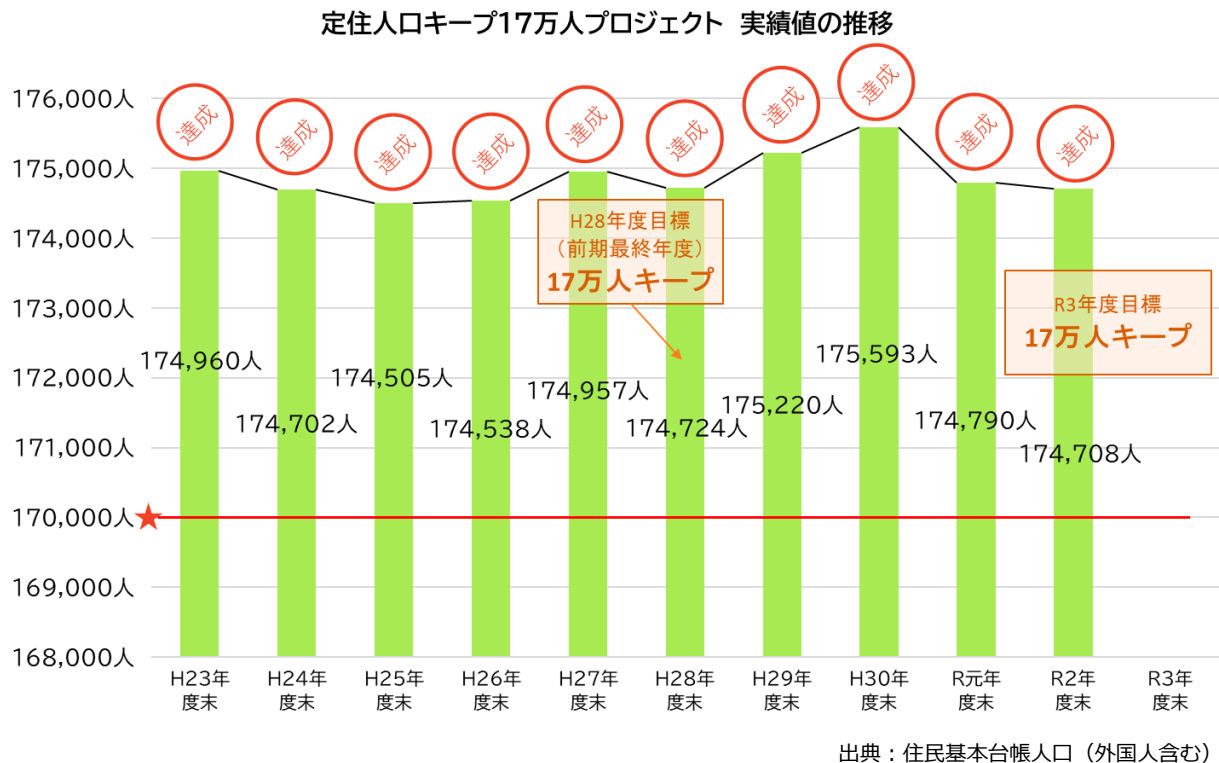
| 取組内容と達成状況                                                                                                                                  | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                       | 担当課   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (1) 農林水産業の振興                                                                                                                               |                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者に対して施設整備や放流事業等への支援を行ったが、目標とする魚価を達成することはできなかった。</li> <li>●漁業者の労力軽減と安全確保、漁港の長寿命化を推進した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●水揚額の増加や水産資源の維持・増大、魚食普及により、所得の向上及び安定を図る。</li> <li>●漁港施設の機能保全工事を計画的に行い、漁業者の安全を確保する。</li> </ul> | 水産振興課 |
| (2) 商工業の振興                                                                                                                                 |                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●商店街等の空店舗での創業や新規出店者に対する助成及び移動販売事業への助成を行った。</li> </ul>                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き創業や新規出店への支援及び雇用の創出に務める。</li> </ul>                                                       | 商工振興課 |
| (3) 就業支援                                                                                                                                   |                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●地元就職促進の取組を重点的に取り組み、目標値を達成することができた。</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地元就職に向けた地元就職に関する情報発信の強化が必要である。外国人住民に対する就労支援の強化も必要である。</li> </ul>                             | 産業政策課 |
| (4) 産業の担い手育成                                                                                                                               |                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就農者への初期投資への負担軽減を図った。組織などについては、認定農業者、さらには法人化することで大規模化し育成が図られている。地域の担い手となっている。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの取組を継続していくが、近年、農業への企業参入が見受けられ、担い手の育成に関して注視が必要である。</li> </ul>                             | 農業振興課 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規林業就業者に係る社会保険料等の負担分の一部を補助した。</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●県と連携しながら、担い手の確保、育成をしていく。</li> <li>●林業の省力化を進めることで、新規林業従事者の増加を図る。</li> </ul>                   | 森林政策課 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規漁業者に対して船舶整備等助成、経営体に対し雇用支援を行った。</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●県や漁協と連携を図り、担い手を確保・育成していく必要がある。</li> </ul>                                                    | 水産振興課 |
| (5) 新産業の創出                                                                                                                                 |                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●県有地でのメガソーラー事業をはじめ市内数か所で民間による太陽光発電事業が開始された。</li> </ul>                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ゼロカーボン社会実現のため、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギー設備の導入推進。</li> </ul>                                       | 環境政策課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                       | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                           | 担当課   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (5) 新産業の創出                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                          |       |
| ●農業分野において、令和3年度は、付加価値を高めることを目的とし、島根大学との連携により機能性農産物の成分分析を進めることとなった。                                                                                                              | ●新産業の創出にスマート農業の要素を取り入れる必要がある。                                                                                                                                            | 農業振興課 |
| (6) 企業誘致の推進                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                          |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内工業団地の分譲率は96.7%に達している。また、既存立地企業の雇用の場の拡大に務めた。</li> <li>●斐川中央工業団地も分譲を完了し、操業が開始されている。</li> <li>●出雲市駅南方面等の中心市街地へのソフト産業の誘致もすすんだ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●経済情勢に左右されない多種多様な業種、職種の誘致が求められる。</li> <li>●斐川インターチェンジ付近での新たな工業団地整備を進める。</li> <li>●サテライトオフィスや空家活用等による中山間地域への企業立地促進を目指す。</li> </ul> | 産業政策課 |
| (7) 出雲ブランドの推進（特産振興、販路の拡大）                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                          |       |
| ●出雲ブランド商品の認定とともにデジタルマーケティングを実施。出雲推奨商品の販路拡大を支援。                                                                                                                                  | ●出雲ブランド商品及び出雲推奨商品のデジタルマーケティングについては、消費者に対しPR訴求効果の高い方法について検討し、実施する。                                                                                                        | 商工振興課 |
| ●「出雲」の冠がついた果樹・野菜等も増え、特産として定着してきているが、情報発信や販路拡大については、十分な取組ができなかった。                                                                                                                | ●「出雲」という名前に、新鮮でおいしいというイメージを持たせる取組が必要。                                                                                                                                    | 農業振興課 |
| ●小伊津アマダイの中間育成・放流の実施、シジミの資源保護・販売促進に助成した。                                                                                                                                         | ●引き続き特産品の生産拡大や販売促進の取組に対する助成を行う必要がある。                                                                                                                                     | 水産振興課 |
| (8) 農林水産業の6次産業化                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                          |       |
| ●地域農産物の強みを活かした新商品開発により、新たなブランド商品の展開、及び、食文化の向上に寄与した。                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業が農業ビジネスへの参入時に、参入のきっかけづくりのマネジメントが求められる。</li> <li>●農商工者のネットワークのための支援体制が求められる。</li> </ul>                                         | 農業振興課 |

| 取組内容と達成状況                                           | 課題と次期計画における方向性                                                                           | 担当課   |
|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (8) 農林水産業の6次産業化                                     |                                                                                          |       |
| ●一般企業の農業ビジネス参入は、支援内容が不十分なこともあり、期待されるほどの参入企業は見られなかった | ●農林水産業の6次産業化は、地域内経済循環の促進や、マーケティング強化が図られる。企業の農業参入は雇用創出に貢献する。<br>●各事業体に適切な情報発信する取組を構築していく。 | 農業振興課 |
| ●定置網漁業を営む企業経営体の加工施設整備等に助成を行った。                      | ●漁業者の6次産業化の取組を支援する。                                                                      | 水産振興課 |

## 2. 定住人口キープ17万人プロジェクト

### ① 数値目標に対する達成度（毎年の推移）



### ② 評価検証の概要

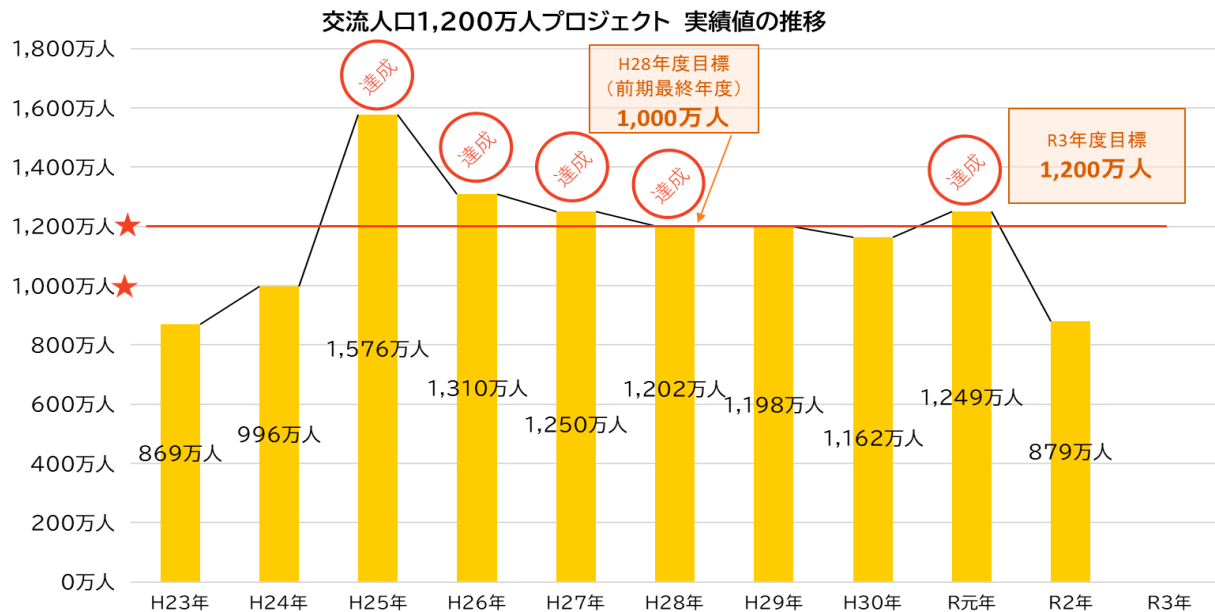
| 取組内容と達成状況                                                               | 課題と次期計画における方向性                                                                                      | 担当課    |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| (1) 定住支援                                                                |                                                                                                     |        |
| ●移住支援サイト「いずも暮らし」において、積極的に情報発信した。また、関係機関と連携し、定住支援を行ってきた。                 | ●U I ターン者のニーズを的確に把握し、柔軟な対応が必要である。また、子育て世帯や新婚世帯、I ターン独身女性の移住定住を進めるため、効果的な定住支援となるよう関係機関とも連携しながら進めていく。 | 縁結び定住課 |
| ●新築住宅の固定資産税の課税免除制度については、一定の成果を確認することができたため、平成31年1月1日新築分までで終了した。         |                                                                                                     | 資産税課   |
| (2) 公共交通ネットワークの整備                                                       |                                                                                                     |        |
| ●一畑電車に対しては、沿線地域対策協議会を通じた支援により、運行維持と利便性の向上を図った結果、平成29年度以降は目標を達成するも令和2年度は | ●一畑電車沿線地域対策協議会が策定した支援計画に基づき、支援の継続と利用者数回復に向け取り組む。                                                    | 交通政策課  |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                           | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                           | 担当課     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (2) 公共交通ネットワークの整備                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                          |         |
| <p>目標を大きく下回る結果となった。</p> <p>●運行補助・委託によりバス交通の路線維持を行うとともに、運行サービスの改善を行った。しかしながら、利用者数の減少は止まらず、目標とする利用者数を達成していない。</p>                                                                     | <p>●通学利用者、高齢利用者の減少に加え、コロナ禍による観光客減や外出控えにより、利用者は減少している。</p> <p>●「地域公共交通計画」策定により、市民ニーズに対応したサービスの提供と持続可能な地域公共交通網の構築を図る。</p>                                                                  | 交通政策課   |
| (3) 市民活動の支援                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                          |         |
| <p>●NPO法人等の活動の健全な発展を促進するため、指導や支援を行った。</p> <p>●さらに、総合ボランティアセンターを中心に、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ボランティアのネットワークの拡大に取り組んだ。</p>                                                                 | <p>●協働事業補助金のさらなる活用をすすめる。</p> <p>●総合ボランティアセンターを中心に情報の収集や紹介、人材育成、相談業務の更なる拡充に努める。</p> <p>●また、NPO法人等の活動の多様性や自主性を尊重し、特定非営利活動の健全な発展を促進するため、ネットワークづくりなどの支援を行う。</p>                              | 市民活動支援課 |
| (4) 縁結びプロジェクト（男女の出会いの場創出、結婚支援）                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                          |         |
| <p>●平成28年度から県内でも早い段階で結婚相談員「婚活サポートマネジャー」を配置し、結婚を希望する女性の支援を行うとともに、結婚を希望する独身男女を対象としたセミナーや出会いの場の創出を行った。</p> <p>●また、島根はっぴいこーでいねーたー（はびこ）と連携した取組により、はびこによる男女の引き合わせ件数を約5倍に増やすなどの成果があった。</p> | <p>●未婚化・晩婚化対策として、関係団体と連携しながら、結婚を希望する人のニーズに合った支援に取り組む。</p>                                                                                                                                | 縁結び定住課  |
| (5) 維持が困難な集落の支援                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                          |         |
| <p>●4つの行政センター内に、うみ・やま（中山間地域）応援センターをH29年7月から設置し、地域支援員及び地域おこし協力隊員を配置した。</p> <p>●地域住民の主体的な話し合いや、具体的な実践活動につながった。</p> <p>●また、集落応援隊の派遣により集落の維持活動への支援を行った。</p>                             | <p>●住民の主体的な取組につながる話し合いなどを行う中心的な役割（地域づくりリーダー）を担う者が不足している。</p> <p>●地域課題解決に向けた取組が推進されるよう、うみ・やま（中山間地域）応援センターの取組を通して中山間地域の活性化を図る。また、新設された中山間地域振興室による、うみ・やま支援施策検討会議において、より具体的な施策を横断的に検討する。</p> | 自治振興課   |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                  | 課題と次期計画における方向性                                                                                                      | 担当課    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| (6) 出雲ブランドの推進（出雲の魅力発見・情報発信）                                                                                                |                                                                                                                     |        |
| <p>●出雲ブランド化推進市民委員会を中心に、出雲の魅力を再発見する取組を行った。おんぼら出雲風土記の発刊、お願いどころマップの作製、大好き★出雲グッズの作製など、多くの成果品を残した。</p>                          |                                                                                                                     | 縁結び定住課 |
| <p>●出雲に縁のある著名人が出演するPR動画を作成し、市公式Y o u t u b eで配信したほか、市主催のイベント等で放映することで、「出雲」をPRした。</p> <p>動画視聴回数 178,026回<br/>作成動画本数 16本</p> | <p>●17万回以上の動画視聴があり、本市のPRに一定の効果があったと判断している。効果測定が視聴回数のみであるなどPR効果を数値で測定できていないことが課題。</p> <p>ターゲットを明確にし、戦略的な情報発信を行う。</p> | 政策企画課  |

### 3. 交流人口1200万人プロジェクト

#### ① 数値目標に対する達成度（毎年の推移）



出典：出雲市 令和2年島根県観光動態調査に基づく観光入込客延べ数  
 \*注記：平成24年度は県への本市報告値（神話博来場者を除く数）（参考）H24県観光動態調査 1,044万人

#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| (1) 歴史文化遺産の保存活用                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲大社国宝本殿・重要文化財施設保存修理、鰐淵寺境内建造物保存修理、出雲国山陰道跡調査事業を完了した。田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備活用、重要文化財旧大社駅修理、荒神谷遺跡保存・改修については事業継続中。「出雲市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和3年7月に国の認定を受けた。また市内遺跡文化財の調査・研究を続行し、市民への還元等の活用・普及・啓発に努めた。</li> <li>●平成29年に日本遺産「日が沈む聖地出雲」の認定を受け、魅力発信事業を推進した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●『出雲国風土記』記載遺跡は、発掘調査の増加により予算及び体制が確保できず実施に至らなかった。また古文書等文献調査及び保全については専門研究員の人員が十分に確保できず遅滞している。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大により、出雲弥生の森博物館及び荒神谷博物館の入客数の減少などの影響を受けている。風致維持向上計画は策定には至らなかった。</li> <li>●風致維持向上計画は、新たに制度化された「文化財保存活用地域計画」の策定を進める必要があり、策定には至らなかった。</li> <li>●「出雲市文化財保存活用地域計画」に基づき、古文書等の調査・研究、史跡保存活用計画策定、建造物保存修理・史跡整備等による情報発信、文化財巡りルートづくりをすすめる。</li> </ul> | 文化財課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                  | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                  | 担当課            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| (2) 観光ネットワークの構築                                                                            |                                                                                                                                                                 |                |
| ●出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」の運行に取り組み、滞在時間の延長に大きな効果があった。                                               | ●「うさぎ号」の認知度を高めることはもとより、周遊ルートの魅力化・多様化を図り、連泊につなげていく。                                                                                                              | 観光課            |
| (3) 歴史文化のシンボル空間の整備                                                                         |                                                                                                                                                                 |                |
| ●ご縁広場をリニューアルし、出雲大社から旧大社駅までのまちあるきを促進する道の駅となった。                                              | ●ご縁広場を活用し、出雲大社から旧大社駅までのまちあるきをいかに促すかが課題である。                                                                                                                      | 観光課            |
| ●出雲大社の参詣道である神門通り線の整備促進に努めた。                                                                | ●出雲大社の参詣道にふさわしい景観に配慮したグレードの高い歩行空間の形成を図り、観光客の回遊性を高め、通りへの賑わいを創出する。                                                                                                | 都市計画課<br>建築住宅課 |
| ●神門通り地区の街なみ（建物）修景の整備助成により、門前町にふさわしい景観の保全・形成に努めた。                                           | ●神門通り地区の街なみ（建物）修景の整備助成制度を5年間延長することとし、引き続き門前町にふさわしい景観の保全・形成に努める。                                                                                                 |                |
| (4) 出雲ブランドの推進（神在月、地域の特色を生かした交流推進）                                                          |                                                                                                                                                                 |                |
| ●出雲総合芸術文化祭などを通して、全国から誘客を図り、交流推進を創出した。                                                      | ●令和元年度末以降の出雲総合芸術文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業を規模縮小又は中止したため、鑑賞機会、発表機会が大幅に減少し、交流が停滞した。<br>事業の評価・検証等を常に行い、参加者（観覧者）が参加（観覧）しやすく、また、参加（観覧）したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努める。 | 文化スポーツ課        |
| ●出雲全日本大学選抜駅伝競走などの大型スポーツイベントを開催し、出雲を全国に発信し、シティセールスを行った。                                     | ●2020出雲全日本大学選抜駅伝競走については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。事業の評価・検証等を常に行う。                                                                                              |                |
| ●「出雲そば」「出雲ぜんざい」など『出雲』の食を、県外大規模イベント出展等を通じて全国に情報発信しており、食フェスコンテストでの受賞などにより、「出雲」の認知度向上に成果があった。 | ●観光・商工団体や民間事業者を中心に組織された「出雲食戦略会議」と協働し、出雲の食を活用し、効果的な情報発信をしていく。                                                                                                    | 観光課            |

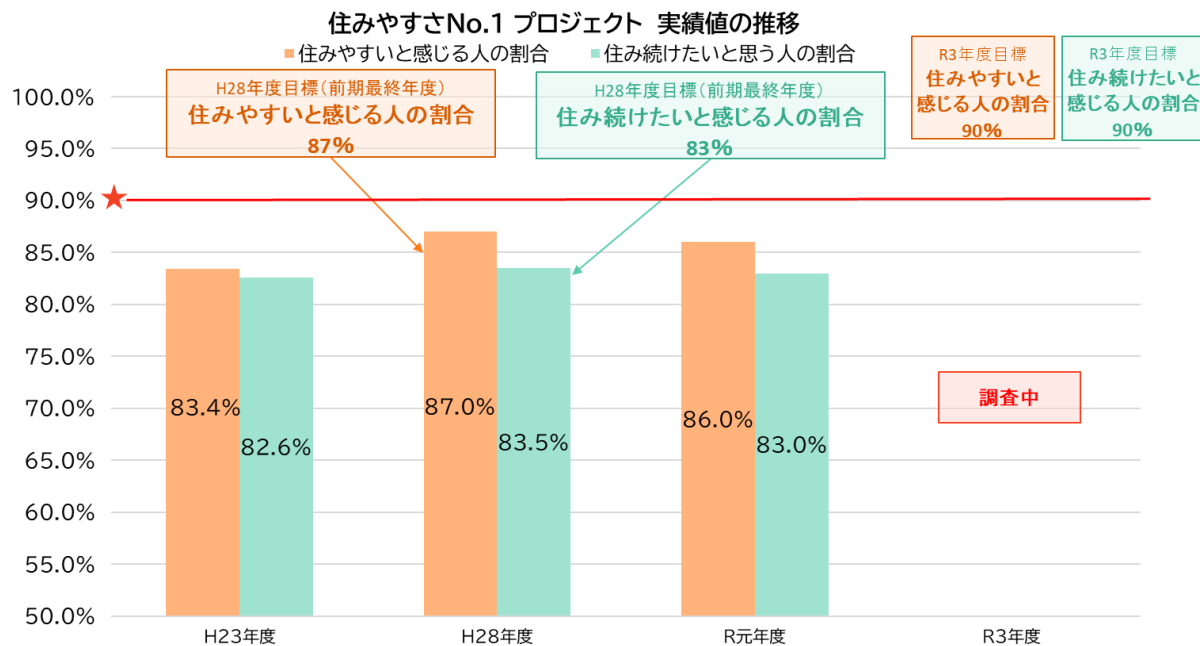


| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (5) 広域交通ネットワークの構築                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 21世紀出雲空港整備利用促進協議会を通じ国際チャーター便の支援事業を実施し、また航空会社に、国際便就航の要望を行い、令和元年度まで毎年国際チャーター便就航の後押しができた。</li> <li>● 島根県鉄道整備連絡調整協議会に参画し、利用促進事業やJRへの要望活動を行った。</li> <li>● また、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議等により関係自治体等とともに、国や国会議員への要望や機運醸成を図るための啓発活動を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスにより、国際チャーター便が運休となり、海外渡航マインドは冷え込んでいる。これまで以上に利用を促進し、将来的な国際路線定期就航に向けた取組を継続的とする</li> <li>● 利用者数が落ち込んでいる現状の中、使いやすいダイヤや路線の確保に向けた取組が必要である。</li> <li>● また、新幹線については、今後の進展が期待される状況であることから、速やかに地域全体の機運醸成を図り、地元の熱意を国へ届けていくことが必要である。</li> </ul> | 交通政策課 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 山陰道について、国は出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通予定を、令和6年度と示した。山陰道の供用率は、66%と全国供用率の88%に比べ遅れている。高規格道路境港出雲道路の整備促進について、県知事重点要望において要望を継続、令和3年度松江北道路が新規事業化される。</li> <li>● 出雲河下港へのアクセス道路の整備について、県知事重点要望において山陰道斐川ICからのアクセス道路の整備を要望している。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 山陰道について、ミッシングリンク解消に向けて国、県への要望を継続する。</li> <li>● 境港出雲道路について、県は松江北道路の整備を優先する方針である。このような中、国は令和2年度からこの圏域における8の字ルートの必要性を認めた。境港出雲道路の整備促進について、ミッシングリンク解消に向けて、国、県に要望していく。</li> <li>● 出雲河下港へのアクセス道路の整備について、引き続き県へ要望する。</li> </ul>                     | 建設企画課 |
| (6) インバウンド観光（外国人による訪日観光）の推進                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルプロモーションを展開し「IZUMO」の認知度アップを図りながら、海外旅行会社へのセールスコールや商談により旅行商品造成に取り組んだ。目標としていた外国人宿泊者数1万人を目標年度よりも早い令和元年で達成することができた。</li> </ul>                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスによるインバウンド誘客に直接影響がある。しかしながら、海外から日本への旅行ニーズは高く、今後も海外・国内の感染状況やワクチン接種の状況を注視しながら、情報発信を継続していくことが必要である。</li> </ul>                                                                                                                         | 観光課   |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                           | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                        | 担当課 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| (7) 出雲大社「平成の大遷宮」後の観光対策                                                                                                                                              |                                                                                                                                       |     |
| <p>●出雲大社の「平成の大遷宮」を契機に、出雲大社周辺の観光入込客数は高い水準を維持している。</p> <p>日本遺産「日が沈む聖地出雲」、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」及び「国立公園満喫プロジェクト」の3つのプロジェクトのもと日御碕・鷺浦エリアを中心に、体験プログラムの造成等受入環境向上に向けた取組ができた。</p> | <p>●新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているが、観光入込客数に対し、市内宿泊客数が少ないことが課題である。</p> <p>出雲大社へ一極集中し、そのまま通過してしまう観光客を市内の他エリアに回遊させ、滞在時間延長を図り宿泊に繋げることが必要である。</p> | 観光課 |
| (8) スポーツ・レジャー空間の活用                                                                                                                                                  |                                                                                                                                       |     |
| <p>●サイクリングツーリズムや自然を生かしたクルージング、トレッキングなどの体験プログラムの造成などに取り組み、交流人口拡大が図れた。</p>                                                                                            | <p>●アウトドア需要が高まっており、自然体験をはじめとする体験メニューの造成など着地型旅行商品の充実を図る。また、いりすの丘公園の再生を図るとともに、県施策である「美肌県しまね」と連携し、「湯の川温泉」の活性化に向けて取り組む。</p>               | 観光課 |

## 4. 住みやすさNo. 1プロジェクト

### ① 数値目標に対する達成度



出典：出雲市 市民満足度調査（平成 24 年 6 月、平成 28 年 6 月、令和 1 年 6 月実施）

\* 注記：①住みやすいと感じる人の割合…市民満足度調査で「住みやすい」または「まあまあ住みやすい」と回答した人の回答者中の割合②住み続けたいと思う人の割合…市民満足度調査でこれからも「住み続けたい」と回答した人の回答者中の割合

### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                          | 担当課   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (1) 防災安全都市の構築                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                         |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災訓練の実施や、防災行政無線戸別受信機を整備した。</li> <li>●原子力災害に関して、広域避難計画を策定し、県や関係自治体等と毎年度原子力防災訓練を実施している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●要支援者の個別避難計画について、各地区の策定状況の詳細の把握ができていない。7月大雨災害の対応を検証し、地域防災計画の見直しや自治防災組織との連携強化を図る。</li> <li>●原子力災害に係る広域避難計画を、適宜見直しを行う。防災訓練を実施し、実効性を高める。</li> </ul> | 防災安全課 |
| (2) 生涯現役支援（健康づくり、疾病予防、介護予防の充実）                                                                                                           |                                                                                                                                                                                         |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣病や介護予防、心の健康づくりなどについて、正しい知識の普及啓発や健診・がん検診の受診勧奨を実施した。生活習慣病予防を中心とした学習の場の充実に努めた。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特定健診・がん検診の受診率向上に向け取組を進めていく。受診率の低い層や未受診者の分析および効果的な勧奨方法を検討する必要がある。</li> </ul>                                                                     | 健康増進課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                     | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                     | 担当課                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| (2) 生涯現役支援（健康づくり、疾病予防、介護予防の充実）                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                    |                             |
| <p>●コミュニティセンター単位で展開する健康づくり活動を基軸に、関係機関や団体と連携を図り、母子から高齢者までの健康づくり活動を行うことができた。</p> <p>●介護予防・日常生活支援総合事業による基本チェックリスト該当者に対する介護予防事業に加え、地域住民が主体となって介護予防に取り組む「通いの場」の立ち上げや「高齢者ふれあいサロン」の運営支援に力を入れてきた。</p> | <p>●地域ぐるみの健康づくり活動を推進する。また、健康寿命の延伸を目指し、関係機関・団体や職域と連携し個人のヘルスリテラシーの向上を図るための対策を推進する。</p> <p>●地域住民が主体となって、健康づくりや介護予防に取り組む活動の場づくりを支援するとともに、フレイル予防が必要な高齢者を健診結果等から把握し、こうした「通いの場」への参加を積極的に働きかけていく必要がある。</p> | <p>健康増進課</p> <p>医療介護連携課</p> |
| (3) 保健・医療・福祉ネットワークの構築と連携強化                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                    |                             |
| <p>●医療・介護関係者の連携の深化のため、研修会等の開催の支援や、情報提供方法の統一化を進めるとともに、「出雲市入退院連携ガイドライン」を策定した。</p> <p>また、医療・介護関係者の相談窓口として「在宅医療・介護連携支援センター」を運営してきた。</p>                                                           | <p>●医療・介護関係者が連携した円滑な入退院支援のため、ガイドラインの定着を図っていくとともに、定期的な運用確認を行い、必要に応じて改正していく必要がある。</p> <p>●在宅医療・介護連携支援センターでは、まめネットを用いた情報提供や、ラインアカウントを活用した情報共有を進め、さらなる連携の深化を図る。</p>                                    | 医療介護連携課                     |
| (4) 子育て支援                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                    |                             |
| <p>●出雲市子ども子育て支援事業計画を策定し、「子育てに喜びを実感できる社会の実現」を目指し、子どもを安心して生み、育てられる環境づくりを進めた。</p>                                                                                                                | <p>●放課後児童クラブの拡充を図っているが、入会未決定が生じている。</p>                                                                                                                                                            | 子ども政策課                      |
| <p>●出雲市母子健康包括支援センターを中心に相談体制を充実させ、健診や全戸訪問、きずなはぐくみ事業等の母子保健サービスの実施、地域の子育て力として子育てサポーターの育成・活用を行った。</p>                                                                                             | <p>●メンタルヘルスや支援者不足等の背景から子育て不安を抱える親が増えており、必要な母子保健サービスをタイムリーに提供をしていくことが大切である。</p>                                                                                                                     | 健康増進課                       |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                  | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                | 担当課     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (4) 子育て支援                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                               |         |
| ●不妊・不育症治療費助成や産後ケア事業、養育支援訪問等が必要な家庭へ支援を行った。                                                                                                                                  | ●継続して、切れ目のない子育て支援に努める。                                                                                                                                        | 健康増進課   |
| ●病児・病後児保育事業を継続して実施した。<br>また、地域活動推進事業として、保育所等の施設を利用した小学生の放課後預かり事業を実施している。                                                                                                   | ●病児保育、病後児保育ともに利用者数は増加傾向にあるため、保育ニーズは年々高まっている。施設間の連携を強め、安定した事業を行っていく必要がある。また、小学生の放課後預かり事業についても継続する。                                                             | 保育幼稚園課  |
| ●私立認可保育所への保育士等の人員配置や施設整備に係る補助を行った。また、延長保育や一時預かり、障がい児保育など多様な保育ニーズにこたえるための体制整備に対して支援を行った。                                                                                    | ●入所未決定者の解消には至っていない。そのため、定員増加に伴う施設整備の支援については、補助事業メニューの新設や廃止を検討していく。                                                                                            |         |
| (5) 高齢者、障がい者の支援                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                               |         |
| ●医療・介護関係者の情報共有や連携のための研修会等に取り組んだ。医療・介護関係者の相談窓口として「在宅医療・介護連携支援センター」を運営してきた。                                                                                                  | ●条件不利地域への訪問診療や訪問看護を行う事業者に対して、補助金による支援を行っているが、十分とは言えない。                                                                                                        | 医療介護連携課 |
| ●判断能力が十分でない人のために、権利擁護センターや成年後見センターと連携して、市民後見人候補者を養成した。<br>●施設の基盤整備を介護保険事業計画どおりに整備できた。介護人材の確保・定着に向けた取組を実施したが、人材の不足の解消には至っていない。高齢者が、積極的に社会参加ができるよう高齢者クラブ、シルバー人材センターの活動を支援した。 | ●市民後見人が受任するに適した案件がない。<br><br>●事業廃止に至る事業所の主たる要因が、介護人材不足である。介護業界のイメージアップ発信や、若年層や中高年齢者、市内在住外国人等向けに、介護見学会や講座など実施する。<br>●社会情勢の変化や個人の価値観から会員数が減少してきている。引続き活動の支援を行う。 | 高齢者福祉課  |
| ●地域の相談支援や緊急時の支援体制機能をもった「地域生活支援拠点」事業を開始した。<br><br>●相談支援専門員の研修や相談支援の充実、各種機関との連携などの活動を行った。                                                                                    | ●「地域生活支援拠点」の機能を持つ事業所の拡大や相談支援専門員との連携による支援体制の充実を図る。<br><br>●障害者（児）が、地域で安心して暮らすことができるよう、関係機関と連携し、サービス提供体制の整備等を図る。                                                | 福祉推進課   |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (5) 高齢者、障がい者の支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の文化芸術活動の発表の場、地域住民と触れ合う機会を提供した。</li> <li>●学校や医療機関、相談支援専門員との連携による障がい福祉サービスの支援を行った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化活動、スポーツ活動に加え、障がい者の家族を含めた地域での活動に対する支援を行う。</li> <li>●障がい福祉サービス等の提供体制の整備や確保が必要である。</li> </ul>                                                                                                                                | 福祉推進課 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者（児）の自立や社会参加を促進に向け、相談・支援に取り組んだ。市民の障がいに対する理解を深めるため広報活動や市民、事業所に対して研修を実施した。</li> <li>平成29年度に「出雲市手話の普及の推進に関する条例」を施行した。</li> <li>●地域の相談支援や緊急時の支援体制機能をもった「地域生活支援拠点」事業を開始した。</li> <li>●相談支援専門員の研修や相談支援の充実、各種機関との連携などの活動を行った。また、各種助成等を実施した。障がい者の文化芸術活動の発表の場、地域住民と触れ合う機会を提供した。</li> <li>●学校や医療機関、相談支援専門員との連携による障害福祉サービスの支援を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がいに対する理解を深めるため、広報活動を展開していくとともに、引き続き「あいサポーター研修」を学校、地域及び職域等において実施する。</li> <li>●「地域生活支援拠点」の機能を持つ事業所の拡大や相談支援専門員との連携による支援体制の充実を図る。</li> <li>●地域での障がいに対する理解とともに、支援者との連携が必要である。</li> <li>●障がい福祉サービス等の提供体制の整備や確保が必要である。</li> </ul> | 福祉推進課 |
| (6) 人材育成（特色ある学校教育、学力向上、文化・スポーツの振興、ボランティア育成）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育指導員による学校経営や学力向上に係る学校訪問を実施。学力向上研修講座（+1講座）を開催し、学級づくりや授業づくりなど教職員の資質向上を図っている。また、「家庭学習の手引」活用して、保護者・児童生徒・教員が一体となって家庭学習の習慣化を図ることを推進した。</li> <li>●英語指導助手（AET）、外国語指導助手（ALT）を任用して小・中学校に派遣し、英語指導の補助を行った。</li> </ul>                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●左記の課題の検討を含めて、引き続き、取組を進めていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                      | 学校教育課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                                   | 課題と次期計画における方向性                                                                                         | 担当課     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (6) 人材育成（特色ある学校教育、学力向上、文化・スポーツの振興、ボランティア育成）                                                                 |                                                                                                        |         |
| ●全ての小中学校に学校司書または、読書ヘルパーを配置し、学校図書館の活用促進、学校図書館支援センターと連携した研修会を開催した。                                            | ●左記の課題の検討を含めて、引き続き、取組を進めていく。                                                                           | 学校教育課   |
| ●小・中学校児童生徒1人1台のタブレットP Cの整備や大型モニターの設置などI C T機器を活用した学習の環境を整えた。                                                | ●左記の課題の検討を含めて、引き続き、取組を進めていく。                                                                           | 学校教育課   |
| ●小学校・幼稚園・保育所等では保幼小連携担当者を設置し、教職員相互の連携協力体制を整えとともに、毎年10月に「出雲市保幼小交流の日」を市内一斉（同日）に開催し、交流活動を実施するなど、保幼小連携の充実を図っている。 | ●左記の課題の検討を含めて、引き続き、取組を進めていく。                                                                           |         |
| ●学校と家庭が連携して、児童生徒の体力向上・体づくりを進めている。                                                                           |                                                                                                        |         |
| ●高度な装置や機器を使い、学校では実施体験できない独創的な体験学習、実験を中心とした理科学習を実施した。また、+1理科講座を開催し、理科教育教材への理解を深めるとともに、指導力・授業力の向上を図った。        | ●引き続き、取組を進めていく。                                                                                        | 出雲科学館   |
| ●出雲総合芸術文化祭や出雲芸術アカデミーなどを通して、鑑賞機会、発表機会の充実、芸術文化に接する機会の提供に努め、子どもから高齢者まで市民の積極的な参加を創出した。                          | ●事業の評価・検証等を常に行い、参加者（観覧者）が参加（観覧）しやすく、また、参加（観覧）したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努める。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、事業を実施する。 | 文化スポーツ課 |
| ●出雲市体育協会やスポーツ少年団の活動を通して、各種スポーツ大会の開催や市民参加型のスポーツイベントの開催により、子どもから高齢者まで多くの市民のスポーツ振興を図った。                        | ●事業の評価・検証等を常に行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら多くの市民がスポーツに親しめるよう事業を実施していく。                                 |         |

| 取組内容と達成状況                                                                                                     | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                         | 担当課     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (6) 人材育成（特色ある学校教育、学力向上、文化・スポーツの振興、ボランティア育成）                                                                   |                                                                                                                                                                        |         |
| <p>●NPO法人等の活動の健全な発展を促進するため、指導や支援を行った。</p> <p>また、総合ボランティアセンターを中心に、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ネットワークの充実を図った。</p>      | <p>●NPO法人等の活動の多様性や自主性を尊重し、ネットワークづくりなどの支援を行う。</p> <p>また、総合ボランティアセンターを中心にボランティアのネットワークの拡大や、災害時に対応できる災害ボランティアセンター運営のシミュレーションを地域のボランティア団体や社会福祉協議会と連携して取り組む。</p>            | 市民活動支援課 |
| (7) 自然環境保全（森林再生、河川・湖沼の水質改善、トキをシンボルとしたまちづくり）                                                                   |                                                                                                                                                                        |         |
| <p>●年間を通じ水質状況を把握することで、水質悪化の防止及び水質改善に役立っている。一部の河川で水質（BOD）が悪化した。</p> <p>●宍道湖・神西湖は、国・県が測定しているが、環境基準を達成していない。</p> | <p>●流量の少ない河川で気温上昇による河川環境の変化により、水質悪化が見られた。河川管理者と連携し、水質改善に向けた啓発等を継続していく。</p> <p>●宍道湖の水質（COD）は、過去5年間の最大値よりも高い値となった。神西湖のCODは変動の範囲内であった。宍道湖、神西湖については指針に基づき総合的に対策を進めていく。</p> | 環境政策課   |
| <p>●トキの一般公開では、年間1万人を超す来場があり、トキの保護増殖や野生復帰に関する教育普及啓発については一定の成果があった。トキをシンボルとしたまちづくりの下での一体的な展開にいたっていない。</p>       | <p>●普及啓発の面ではトキの一般公開が実現するなど成果はあった。今後は、「トキの野生復帰を実現する」という具体的な目標を掲げることで、実効的な事業を実施・展開し、官民一体となった取組を進めていく必要がある。</p> <p>●「出雲市でのトキの野生復帰の実現」を目指し、環境配慮型農業の定着を目指す。</p>             | 農業振興課   |
| <p>●松くい虫被害により荒廃した森林を、企業からの寄附金や各種団体からの補助金により再生を図った。</p>                                                        | <p>●引き続き、防除区域内の健全木を守るため、森林病虫害被害の防止を図る。</p> <p>●植林や広葉樹の天然更新の促進も図る。</p>                                                                                                  | 森林政策課   |
| (8) 循環型社会の構築（3Rの推進）                                                                                           |                                                                                                                                                                        |         |
| <p>●3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するため、ごみ減量化アドバイザーによる環境学習の実施や古着市の開催など、ごみの減量及びリサイクルの啓発を行った。</p>                       | <p>●不燃ごみについては、ごみの適正処理・資源化に努めたが、コロナ禍による片付けごみ等の搬入量が増加した。引き続き3Rの取組を市民、企業、行政の協働により推進する。</p>                                                                                | 環境施設課   |



| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                       | 担当課     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (9) 子育て支援施設整備                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      |         |
| ●母子健康包括支援センターを中心に子育て相談体制の充実や関係機関との連携等機能面の強化は図れたが、子育て支援施設整備の検討はできていない。                                                                                                                                                                                                                     | ●乳幼児健診や離乳食教室等はいくにびき大ホールや保健所、コミュニティセンター等を借用して実施しており、プライバシーに配慮した個室や十分なスペースを備えた拠点施設での実施に向けた検討が必要である。                                                    | 健康増進課   |
| ●子どもを安心して生み、育てられる環境づくりを進めた。                                                                                                                                                                                                                                                               | ●仕事と子育ての両立支援として、放課後児童クラブの拡充を図っているが、入会未決定が生じている。親子の成長を支え、子育て家庭を応援する環境づくりに努めていく。                                                                       | 子ども政策課  |
| ●乳幼児からの一貫した発達支援を行う、健康福祉部門と連携した複合施設の整備に向け、平成30年度に検討委員会を立ち上げて会を開催し、松江市で視察を行った。                                                                                                                                                                                                              | ●庁内関係部局で構成する発達支援に係る庁内推進会議を開催し、乳幼児期からの一貫した情報共有と連携を図っており、また発達アセスメント会議等の開催など相談機能の充実が図られてきたことから、複合施設の整備は行わない方向である。                                       | 児童生徒支援課 |
| (10) 学びの拠点整備                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                      |         |
| <p>●児童生徒にとって等しく良好な教育環境を確保し、教育効果を一層高めていくため、地元と十分に議論・協議しながら、学校の再編統合を進めた。</p> <p>平成27年4月 光中を平田中に統合</p> <p>平成27年4月 鵜鷺小と日御碕小を大社小に統合</p> <p>平成28年4月 佐香小を久多美小に統合（さくら小）</p> <p>平成29年4月 田儀小を岐久小に統合（多伎小）</p> <p>平成31年4月 塩津小を北浜小に統合</p> <p>平成31年4月 乙立小を朝山小に統合（みなみ小）</p> <p>令和3年4月 檜山小と東小を統合（朝陽小）</p> | <p>●朝山小、乙立小、稗原小の3校統合と檜山小、東小、伊野小の3校統合については、一部地元同意が得られなかったため、それぞれ乙立小を朝山小に統合、檜山小と東小を統合した。</p> <p>令和7年4月開校予定の4校（国富小、西田小、鰐淵小、北浜小）統合小学校の開設にむけて、準備を進める。</p> | 教育政策課   |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (10) 学びの拠点整備                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●統合校の新設や社会増に対応した校舎増築を実施した。</li> <li>●耐震化対策は、令和2年度に耐震補強が完了した。耐震改築（建替え）については、現在着手している。（4校5棟）</li> </ul>                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●平田4地区統合小学校整備に取り組む。</li> <li>●令和5年度に耐震化率100%を達成するとともに、令和6年度に解体や校庭復旧を含めた事業完了をめざす。</li> <li>●長寿命化計画に基づき、財政計画と調整を図りながら、改築事業や改修事業に取り組んでいく。</li> </ul>                                                                                                        | 教育施設課 |
| (11) 新エネルギー導入の推進（太陽光発電・小水力発電の推進、木質バイオマスの活用）                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅用太陽光発電システムは順調に導入が進み、発電量は県内市町村の中でトップとなった。</li> </ul> <p>林地残材の利活用を促進するため、出雲須佐温泉ゆかり館へ木質チップボイラーが導入された。</p>                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小水力発電事業は、事業化可能性調査の結果、導入には至っていない。</li> </ul> <p>バイオマス資源の利活用に向けた取組の継続やバイオマス発電所の整備・誘致の取組の検討。</p>                                                                                                                                                           | 環境政策課 |
| (12) 空き家対策                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲市空家等対策協議会等の設置、対策計画の策定により、総合的かつ計画的な空き家対策に努めた。加えて平成31年4月には建築住宅課内に「空き家対策室」を新設し、庁内における体制強化を図った。</li> <li>●空き家実態調査等により空き家の状況把握に努めるとともに、3つの空き家民間団体と連携協定を締結し、空き家相談会等を実施した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な専門家と連携した、空き家になる前の相談体制の充実・強化、各種相談会の開催などに加え、特に将来家屋を引き継ぐ現役層が家の未来について考える仕掛けづくりを検討する必要がある。</li> <li>●多岐にわたる空き家問題は、行政、市民、地域、民間団体等が協働し、一体となって取り組むことが重要である。そのためにも、空き家対策に係る連携協定を締結した民間団体や自治協会、民生児童委員などの関係団体との連携を強化し、空き家の発生予防、利活用などの取組を積極的に後押ししていく。</li> </ul> | 建築住宅課 |
| (13) グリーンステップの利活用                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●A谷・B谷については、民間事業者による太陽光発電所として利用され、さらに市の公園として利用している。</li> </ul>                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●C谷の利活用については、周辺整備も含め、地域の発展や定住につながるような整備方針を示すよう県に働きかける。</li> </ul>                                                                                                                                                                                        | 建設企画課 |

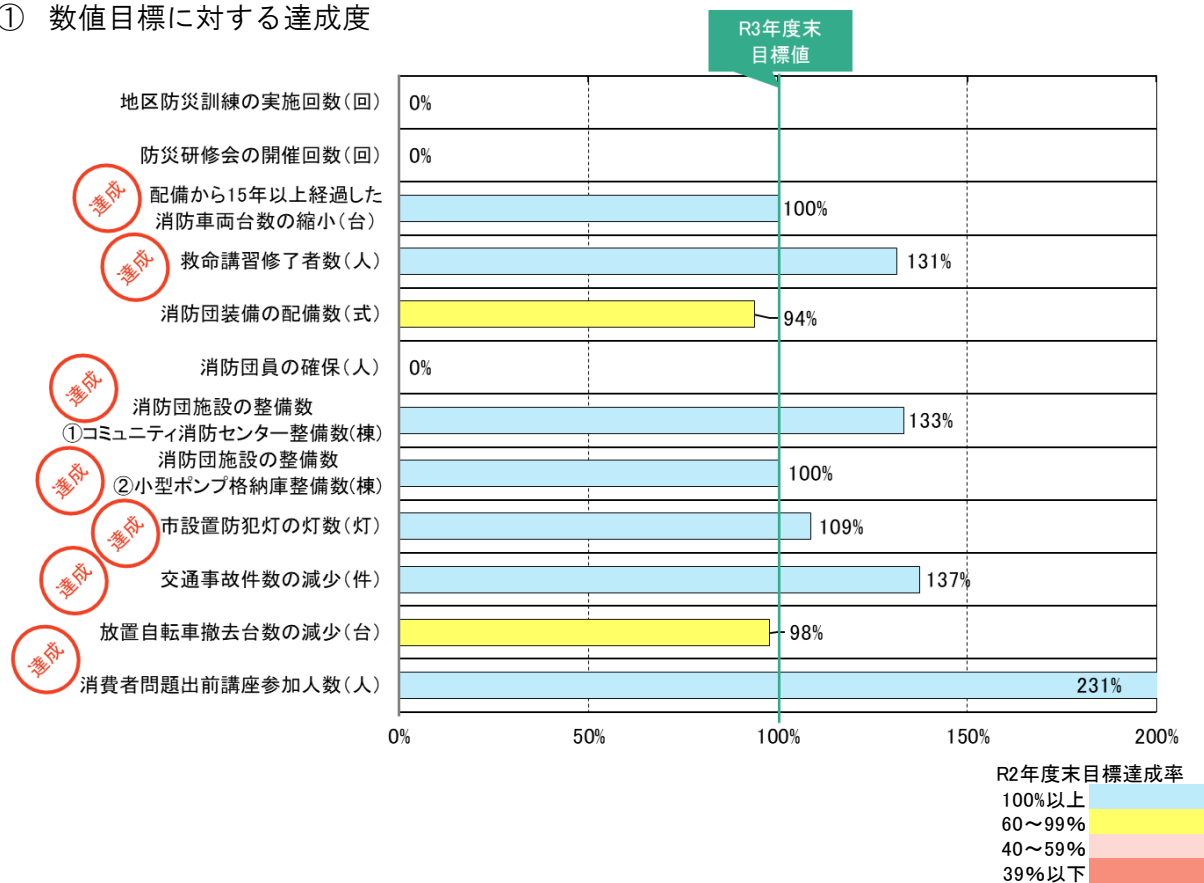
| 取組内容と達成状況                                                                | 課題と次期計画における方向性   | 担当課   |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| (14) 次期可燃ごみ処理施設整備                                                        |                  |       |
| ●次期可燃ごみ処理施設を整備することとなった。平成27年度に建設地を決定して、平成30年度から建設工事に着手した。令和4年4月に稼働予定である。 | 引き続き本稼働に向けて取り組む。 | 環境施設課 |

### III. 6つの基本方策の評価検証

#### 1. 安全・安心都市の創造

##### (1) 防災都市の整備

###### ① 数値目標に対する達成度



|                              | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |   |
|------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---|
| 地区防災訓練の実施回数(回)               | 42            | 46           | 29           | 60           | 0%             | ★ |
| 防災研修会の開催回数(回)                | 30            | 49           | 29           | 50           | 0%             | ★ |
| 配備から15年以上経過した消防車両台数の縮小(台)    | 7             | 7            | 6            | 6            | 100%           |   |
| 救命講習修了者数(人)                  | 23,499        | 38,100       | 38,618       | 35,000       | 131%           |   |
| 消防団装備の配備数(式)                 | 90            | 450          | 540          | 570          | 94%            |   |
| 消防団員の確保(人)                   | 1,755         | 1,727        | 1,706        | 1,844        | 0%             | ★ |
| 消防団施設の整備数①コミュニティ消防センター整備数(棟) | 2             | 5            | 6            | 5            | 133%           |   |
| 消防団施設の整備数②小型ポンプ格納庫整備数(棟)     | 3             | 6            | 6            | 6            | 100%           |   |
| 市設置防犯灯の灯数(灯)                 | 2,168         | 2,258        | 2,268        | 2,260        | 109%           |   |
| 交通事故件数の減少(件)                 | 389           | 274          | 198          | 250          | 137%           |   |

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

|                  | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 放置自転車撤去台数の減少(台)  | 147           | 97           | 101          | 100          | 98%            |
| 消費者問題出前講座参加人数(人) | 1,094         | 1,698        | 1,800        | 1,400        | 231%           |

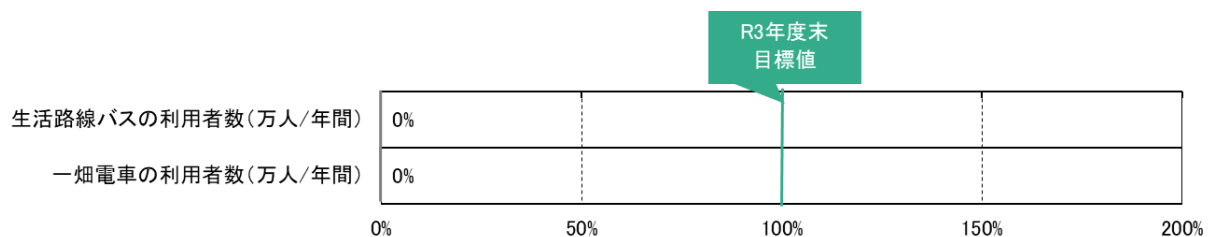
## ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                              | 担当課    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| <b>【危機管理体制の強化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災行政無線戸別受信機を整備し（R2年）、災害時の情報提供体制を構築するとともに、防災の日の訓練や各地区の防災研修参加などで市民の防災意識の向上を図った</li> <li>●原子力防災に関して、安全協定を中国電力（株）と締結し、その後も原子力発電所立地自治体と同様な協定の締結をめざし取組を進めてきた。また、広域避難計画を策定するとともに、毎年度原子力防災訓練を実施している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●要支援者の個別避難計画について、各地区の策定状況の詳細が把握できていない。</li> <li>●R3年大雨災害の対応を検証し、地域防災計画の見直しを図るとともに、被害状況の迅速かつ的確な把握と庁内や関係機関との情報共有のためのシステム導入の検討が必要である。</li> <li>●原子力防災について、立地自治体と同様な安全協定の締結は実現していないため、引き続き中国電力（株）に要請する。</li> </ul>       | 防災安全課  |
| <b>【消防・救急体制の充実・強化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2つの消防庁舎を整備し、消防体制を充実強化した。</li> <li>●車両の整理統合を進め、保有車両のスリム化を行った。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市民と対面での広報活動はできず、図書館において消防団広報用パネルを展示し、消防団の活動や魅力を紹介、加入促進を図った。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●老朽化が進む救急車積載の高度救命処置用機器の維持管理計画が必要となる。</li> <li>●消防組織体制の見直しと、資機材老朽化対応による消防力維持が必要である。</li> <li>●消防団員の確保について、報酬額の見直し、負担軽減等の処遇改善、雇用者・地域の理解・協力などの諸課題解決に向け、第3者を含めた委員で構成する「出雲市消防団改革推進委員会」の検討結果を基に改革を進め消防団員確保に努める。</li> </ul> | 消防本部各課 |
| <b>【治水・治山事業の促進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●斐伊川神戸川治水事業は、国・県により順調に事業が進捗している。</li> <li>●県による新内藤川流域暫定改修は事業完了しているが、その他河川においては治水安全度が低い状況である。</li> <li>●砂防関係事業では、県から重点整備箇所が示された。</li> </ul>                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●斐伊川神戸川治水事業は、国・県への要望を引き続き行う。</li> <li>●中小河川に関しては、治水安全度向上に向けて県への要望を行う。</li> <li>●砂防関連事業は、県への要望継続と休止箇所の地籍確定等に向けた調整を実施する。</li> </ul>                                                                                    | 建設企画課  |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                            | 担当課                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| <p>【地域生活の安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設や市道への放置自転車対策により、台数の減少は目標を達成した。</li> <li>●消費者問題出前講座は、目標を達成している。</li> <li>●防犯ボランティア団体への支援、防犯灯の設置、交通安全教室などに取り組んだ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●啓発活動や撤去による対策は、取組の継続が必要である。出雲警察署等の関係機関と連携して引き続き取り組む。</li> <li>●出前講座は引き続き行い、さらなる啓発に努める必要がある。</li> <li>●信号機の設置については、県の予算が不十分。</li> <li>●防犯ボランティア団体や交通安全対策協議会等と連携して取組を進める。</li> </ul> | <p>交通政策課</p> <p>総務課</p> <p>防災安全課</p> |

## (2) 地域内交通対策

### ① 数値目標に対する達成度



R2年度末目標達成率

100%以上

60～99%

40～59%

39%以下

|                    | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|--------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 生活路線バスの利用者数(万人/年間) | 67            | 54           | 44           | 68           | 0%★            |
| 一畑電車の利用者数(万人/年間)   | 140           | 145          | 100          | 140          | 0%★            |

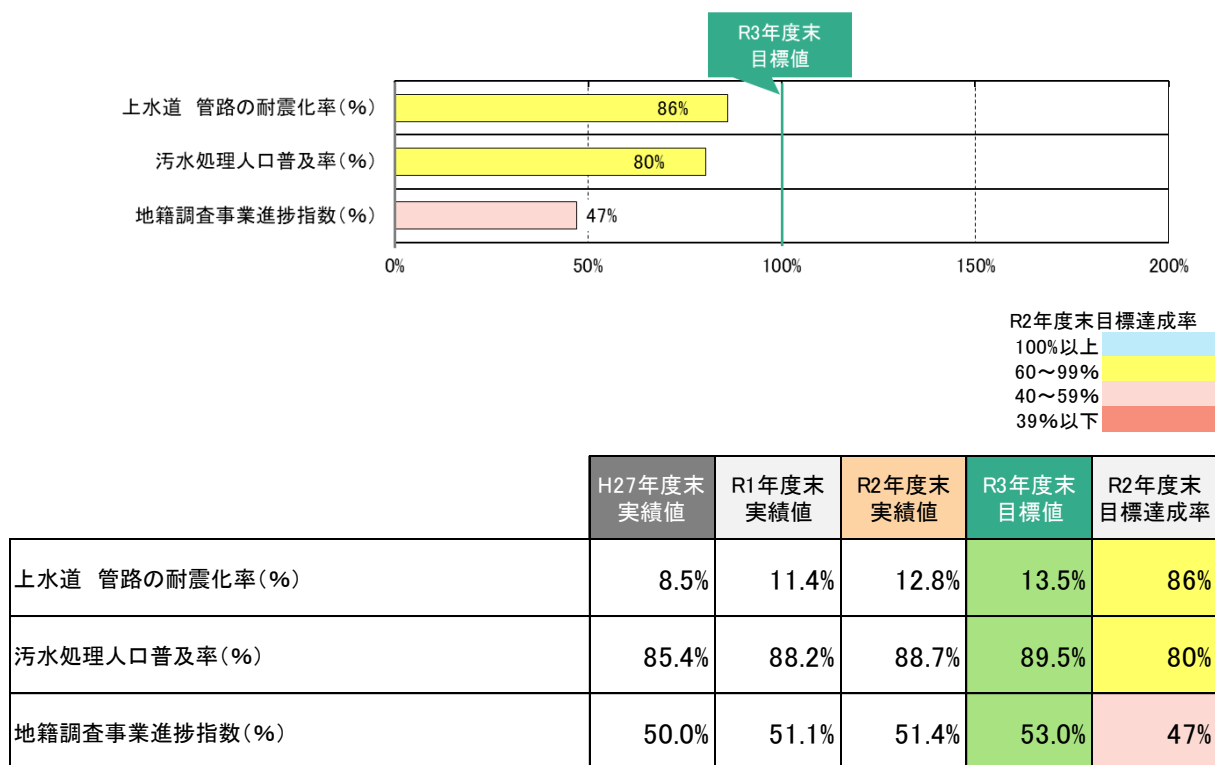
★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                 | 担当課   |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【バス交通の充実】</b><br>●運行補助・委託による路線維持を行うとともに、運行サービスの改善を行った。しかし、利用者数は減少し目標利用者数を達成していない。     | ●通学利用者、高齢利用者の減少に加えて、コロナ禍による観光客減少と外出控えにより利用者が大きく減少した。<br>●「地域公共交通計画」策定により、市民ニーズに対応したサービス提供と持続可能な公共交通網の構築が必要である。 | 交通政策課 |
| <b>【一畑電車への支援】</b><br>●沿線地域対策協議会を通じた支援により、運行維持と利便性向上を図った結果、H29年以降は目標達成するもR2年度は大きく目標を下回った。 | ●沿線対策協議会策定の支援計画に基づき、支援の継続と利用者数回復に向けた取組を行う必要がある。                                                                |       |

### (3) ゆとりと潤いのある居住空間の整備

#### ① 数値目標に対する達成度



#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                       | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                   | 担当課   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【公園・緑地の整備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県による県立浜山公園の施設更新が行われた。</li> <li>● 公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具や施設の改修を実施した。また、公園の樹木や街路樹の適正管理により、憩いの場、緑地の保全に努めることができた。</li> </ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 県による浜山公園周辺施設整備を促進する必要がある。</li> <li>● 次期公園施設長寿命化計画を策定し、重点的効率的な施設維持管理、トータルコスト削減、公園施設の安全性、機能性の維持を図る必要がある。</li> </ul>                                       | 都市計画課 |
| <b>【まちづくり景観の整備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出雲市景観計画に基づき、対象地区における建物の修景助成を行うとともに、景観上影響の大きな大規模建築物・工作物の届出を求め、色彩計画や緑化等の規制・誘導で良好な景観の形成を図った。</li> <li>● 築地松散居景観について、県と共に松くい虫の防除等の拡充やフォトコンテストを行い、PRと保全に努めた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 物件毎に個別の対応をするケースもあるが、引き続き計画に基づく地域の景観整備を推進するとともに、ゆるやかな規制・誘導により市民・事業者の協力の下で良好な景観を形成していく必要がある。</li> <li>● 築地松景観保全対策推進協議会を通じて、適切な保全とPRに取り組む必要がある。</li> </ul> | 建築住宅課 |

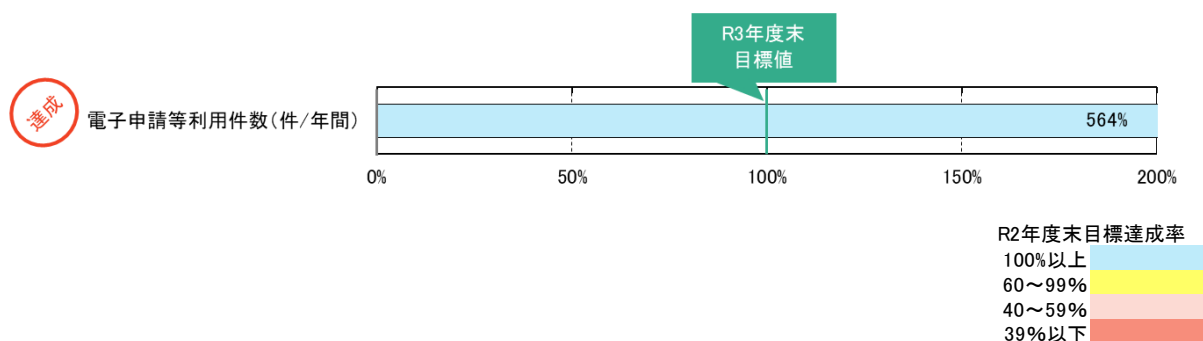


| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                            | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                         | 担当課                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| <p>【まちづくり景観の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●屋外広告物適正化旬間に合わせ、危険看板のパトロール、チラシ配布等の啓発活動を行った。</li> <li>●神門通り線の1工区整備に続き、吉兆間交差点までの整備進捗中である。また、修景整備助成により門前町にふさわしい景観保全・形成に努めた。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●屋外広告物許可期間の切れた広告物の更新申請手続きに取り組むとともに、屋外広告物条例の周知活動を図る必要がある。</li> <li>●神門通り線は出雲大社参詣道にふさわしい景観に配慮した空間を形成するとともに、修景整備助成制度を5年間延長する。(～R7年度)</li> </ul>                                    | <p>建築住宅課</p> <p>都市計画課<br/>建築住宅課</p> |
| <p>【住宅政策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲市公営住宅等長寿命化計画に基づき、建設からの経過年数や経年劣化状況に応じ、外壁塗装改修や屋上防水改修工事等を行い、良質な市営住宅ストック形成に努めた。</li> <li>●細街路拡幅整備事業について、市による工事実施や助成可能であるが、認知度が低く利用がほとんどない状況である。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●R4年度に第2期出雲市公営住宅等長寿命化計画を策定し、良質な市営住宅の維持管理に向け、計画的に長寿命化工事を行っていく。</li> <li>●市街地道路環境整備に有効な制度であるため、認知度向上を図る必要がある。</li> </ul>                                                          | <p>建築住宅課</p> <p>道路河川維持課</p>         |
| <p>【上下水道の安定供給】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水道事業ビジョン(H30～R9)を策定し、重点方策として位置付けた事業を計画的に進めた。</li> <li>●簡易水道事業統合、県水道用水供給事業からの受水拡大、小規模施設の統廃合により施設利用率を向上させたとともに、マッピングシステム更新に合わせて施設台帳システム導入により、施設管理水準を向上させることができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震化計画、管路更新計画に基づき、水道施設や基幹管路を優先して更新しているため、管路全体の更新延長が減少し法定耐用年数を超過する管路が多くなっている。</li> <li>●水道事業ビジョンで策定した「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」を理念とし、①安全、②強靱、③持続の3点を基本方針として計画的な取組を進める必要がある。</li> </ul> | <p>営業総務課<br/>水道施設課</p>              |
| <p>【下水道の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和2年度末の汚水処理人口普及率は88.7%と上昇している</li> </ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、公共下水道の整備、浄化槽の普及促進を図る。ストックマネジメント計画に基づき、計画的に施設の老朽化対策をすすめていく。</li> </ul>                                                                                                     | <p>下水道管理課<br/>下水道建設課</p>            |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                        | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| <p>【バリアフリーの促進】</p> <p>●建築物、道路、公園の整備基準を定め、バリアフリーに配慮した施設や住宅等の整備に努めた。また、「思いやり駐車場」を県と連携して実施し、身体障がい者等専用駐車場の適切な確保に努めた。</p>                                                                                                             | <p>●ユニバーサルデザインの考えにより、公共施設の整備・改修を進めるとともに、民間施設についても事業所等への周知・啓発を行うほか、必要に応じて助言・指導を行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          | 福祉推進課                                                 |
| <p>【その他生活環境整備】</p> <p>●空き家対策については、空き家対策室の新設、出雲市空き家等対策協議会の設置、対策計画の策定により、総合的かつ計画的な対策に努めた。また、実態調査などにより状況把握に努めた。</p> <p>●生活環境下水路については、要望に基づき改良整備を進めてきた。</p> <p>●国土調査事業については、計画に基づき進めてきた。</p> <p>●古志採石場跡に、可燃ごみ施設を整備中。(令和4年4月稼働予定)</p> | <p>●様々な専門家と連携した、空き家になる前の相談体制の充実・強化、各種相談会の開催などに加え、特に将来家屋を引き継ぐ現役層が家の未来について考える仕掛けづくりを検討する必要がある。多岐にわたる空き家問題は、行政、市民、地域、民間団体等が協働し、一体となって取り組むことが重要である。そのためにも、空き家対策に係る連携協定を締結した民間団体や自治協会、民生児童委員などの関係団体との連携を強化し、空き家の発生予防、利活用などの取組を積極的に後押ししていく。</p> <p>●住民の要望にきめ細かく応えながら、地域の生活環境を向上させていく事業として、これまでどおり継続したい。</p> <p>●現事業体制では、大幅な事業推進を図ることが困難であり、山林部において新しい手法の導入を検討する。</p> | <p>建築住宅課</p> <p>道路河川維持課</p> <p>地籍調査課</p> <p>管財契約課</p> |

## (4) 情報共有できる高度情報通信社会の実現

### ① 数値目標に対する達成度



|                 | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|-----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 電子申請等利用件数(件/年間) | 8,058         | 11,253       | 13,371       | 9,000        | 564%           |

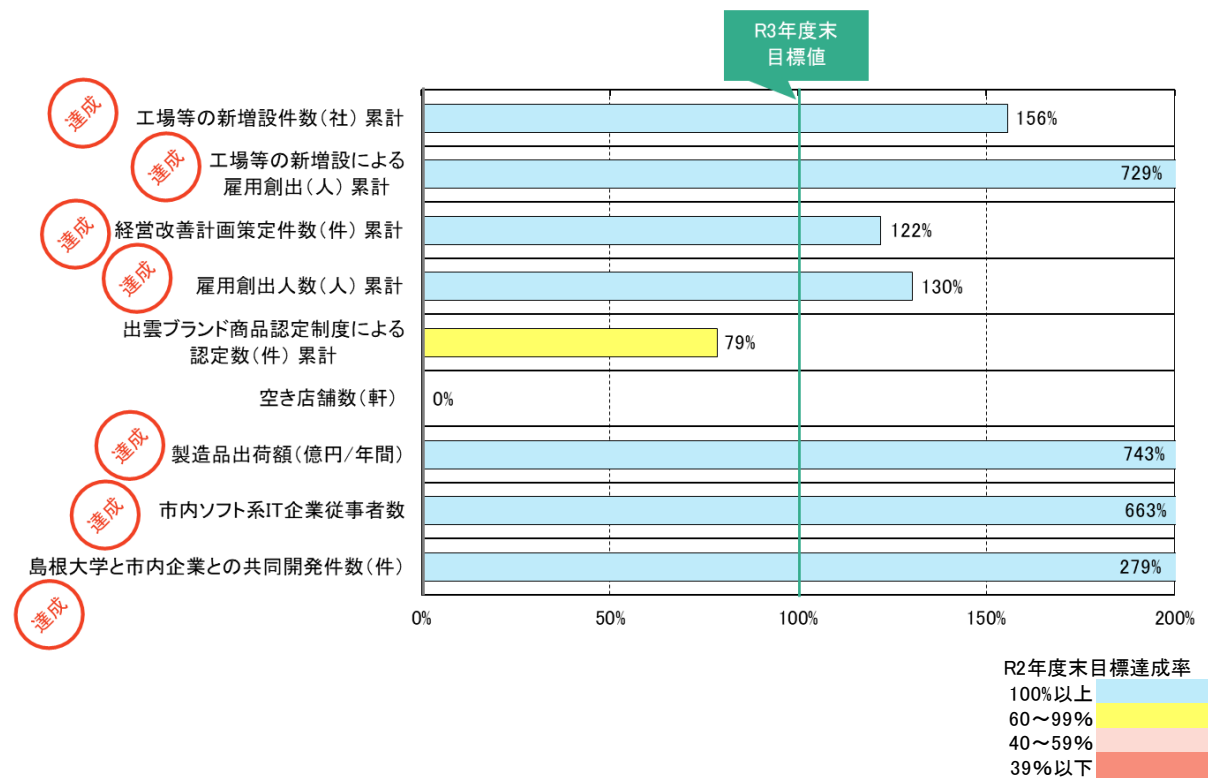
### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                            | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                          | 担当課   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【地域情報化の推進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内居住エリアにおける不感地域の解消に努めている。</li> </ul>                                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●非居住エリアの不感地域解消に向け、携帯電話事業者へ働きかける。</li> <li>●「出雲市デジタルファースト推進計画」を効果的・効率的に進めるために、5G等の高速通信網整備を携帯電話事業者へ働きかける。</li> </ul>                                               | 情報政策課 |
| <b>【電子市役所の構築】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●SNS活用による市政情報、防災情報の発信を行っている。</li> <li>●住民票等のコンビニ交付サービスや、しまね電子申請サービスを通じて市民の利便性向上を図っている。</li> <li>●統合型地理情報システムによる電子化された地図情報を通じて、様々な行政情報を提供している。</li> <li>●職員研修により情報セキュリティ対策に努めている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタルの力を活用し、市民サービスの向上、産業振興を進める。</li> <li>●行政手続のオンライン化については、利用者、職員双方の負担軽減を図りながら、利用者中心の行政サービスの提供に努める。</li> <li>●デジタル技術に不慣れな人にも寄り添いながら、「人に優しいデジタル化」に努める。</li> </ul> | 情報政策課 |

## 2. 産業・観光都市の創造

### (1) 商工・サービス業の振興と発展

#### ① 数値目標に対する達成度



|                          | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |   |
|--------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---|
| 工場等の新增設件数(社) 累計          | 22            | 46           | 50           | 40           | 156%           | ★ |
| 工場等の新增設による雇用創出(人) 累計     | 771           | 1,910        | 2,083        | 951          | 729%           | ★ |
| 経営改善計画策定件数(件) 累計         | 209           | 283          | 320          | 300          | 122%           |   |
| 雇用創出人数(人) 累計             | 1,256         | 2,533        | 2,878        | 2,500        | 130%           |   |
| 出雲ブランド商品認定制度による認定数(件) 累計 | 16            | 24           | 27           | 30           | 79%            |   |
| 空き店舗数(軒)                 | 26            | 21           | 30           | 10           | 0%             |   |
| 製造品出荷額(億円/年間)            | 4,101         | 5,356        | 5,580        | 4,300        | 743%           |   |
| 市内ソフト系IT企業従事者数           | 224           | 381          | 423          | 254          | 663%           |   |
| 島根大学と市内企業との共同開発件数(件)     | 14            | 44           | 53           | 28           | 279%           |   |

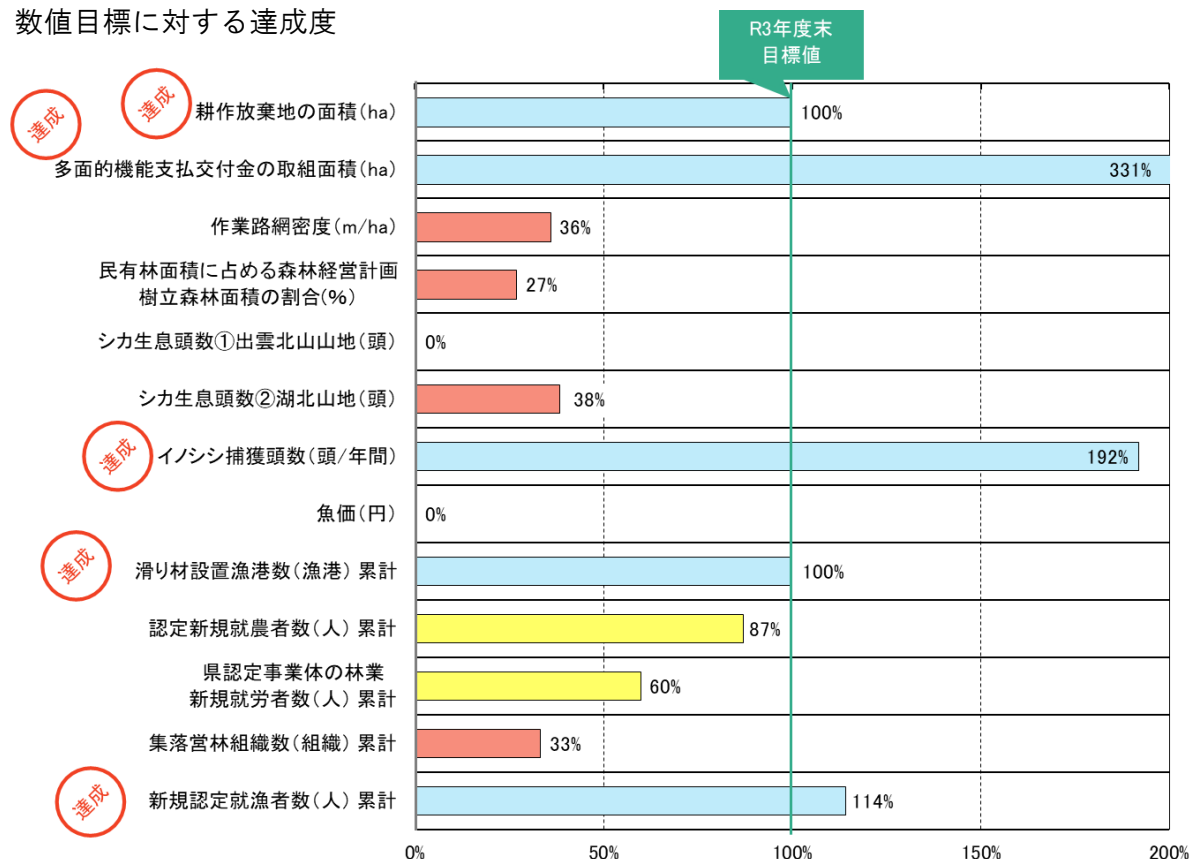
## ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                         | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                             | 担当課            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <b>【企業誘致の促進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内工業団地の分譲率は96.7%となった。また、既存立地企業の雇用の増大に努めた。</li> <li>●斐川中央工業団地も分譲が完了し、操業が開始されている。出雲市駅南方面等の中心市街地へのソフト産業の誘致もすすんだ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●経済情勢に左右されない多種多様な業種や職種の誘致が求められる。</li> <li>●斐川インターチェンジ付近の新たな工業団地の整備を進める。</li> <li>●サテライトオフィスや空き家活用等による中山間地域への企業立地の促進を目指す。</li> </ul> | 産業政策課          |
| <b>【産業支援体制の強化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネスサポートひかわによる中小企業の人材育成により技術力向上などの成果を得た。</li> <li>●中小企業への信用保証料の補助を行った。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●21世紀出雲産業支援センターとビジネスサポートひかわの連携による効果的な事業展開や企業連携の強化を図る。</li> <li>●島根県制度融資と協調した支援を継続していく。</li> </ul>                                   | 産業政策課<br>商工振興課 |
| <b>【雇用対策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人材確保に向け、特に県外流出した若者の地元就職に取り組み、数値目標を達成している。</li> </ul>                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地元就職に向けた情報発信や、関係機関との連携による求職者ニーズの把握等が重要である。</li> <li>●外国人住民への就労支援の強化が必要。</li> </ul>                                                 | 産業政策課          |
| <b>【新たな販路拡大・市場拡大支援】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲ブランド商品の認定とともにデジタルマーケティングを実施。出雲推奨商品の販路拡大、ジェトロとの共催による海外への市場拡大の支援を行った。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲ブランド商品及び出雲推奨商品のデジタルマーケティングについては消費者に対しPR訴求効果の高い方法について検討し、実施する。デジタルツールを活用した販路拡大セミナーなどを実施し、事業者自らの事業PRを支援する。</li> </ul>              | 商工振興課          |
| <b>【商業・サービス業の振興】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商業集積地の空き店舗での創業・新規出店に係る支援を実施した。</li> </ul>                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●商業集積地の商業機能の維持・向上のため支援を継続していく。</li> </ul>                                                                                           | 商工振興課          |
| <b>【工業の活性化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規事業者の商品開発等を支援する斐川企業化支援貸工場を拠点に開発が進められ、7社が市内において事業規模を拡大した。</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●貸工場の空き室が散見されたが、引き続き貸工場による工業の活性化をすすめる。</li> </ul>                                                                                   | 産業政策課          |

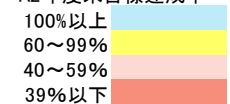
| 取組内容と達成状況                                                                                 | 課題と次期計画における方向性                                   | 担当課          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------|
| <p>【工業の活性化】</p> <p>●企業見学会の開催などを通じて、IT産業への支援を行った。また、医工連携についても、島根大学医学部と市内企業とのマッチングを進めた。</p> | <p>●IT産業支援、医工連携については、関係者との連携を取りながら引き続き支援を行う。</p> | <p>商工振興課</p> |

## (2) 農林水産業の振興と発展

### ① 数値目標に対する達成度



R2年度末目標達成率



|                              | H27年度末実績値 | R1年度末実績値 | R2年度末実績値 | R3年度末目標値 | R2年度末目標達成率 |
|------------------------------|-----------|----------|----------|----------|------------|
| 耕作放棄地の面積 (ha)                | 110       | 80       | 80       | 80       | 100%       |
| 多面的機能支払交付金の取組面積 (ha)         | 5,348     | 5,338    | 5,520    | 5,400    | 331%       |
| 作業路網密度 (m/ha)                | 7.5       | 8.3      | 8.4      | 10.0     | 36%        |
| 民有林面積に占める森林経営計画樹立森林面積の割合 (%) | 25.2%     | 26.6%    | 26.5%    | 30.0%    | 27%        |
| シカ生息頭数①出雲北山山地 (頭)            | ※ 655     | ※ 1,271  | ※ 849    | 180      | 0%         |
| シカ生息頭数②湖北山地 (頭)              | ※ 1,396   | ※ 1,241  | ※ 859    | 0        | 38%        |
| イノシシ捕獲頭数 (頭/年間)              | 1,717     | 1,612    | 2,260    | 2,000    | 192%       |
| 魚価 (円)                       | 538       | 533      | 483      | 560      | 0%★        |
| 滑り材設置漁港数 (漁港) 累計             | 4         | 5        | 5        | 5        | 100%       |
| 認定新規就農者数 (人) 累計              | 27        | 53       | 61       | 66       | 87%        |
| 県認定事業体の林業新規就労者数 (人) 累計       | 36        | 54       | 60       | 76       | 60%        |

※注記：シカ生息頭数①②の実績値は、下限と上限の中間値をとった

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

|                | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 集落営林組織数(組織) 累計 | 0             | 1            | 1            | 3            | 33%            |
| 新規認定就漁者数(人) 累計 | 5             | 9            | 13           | 12           | 114%           |

## ② 評価検証の概要

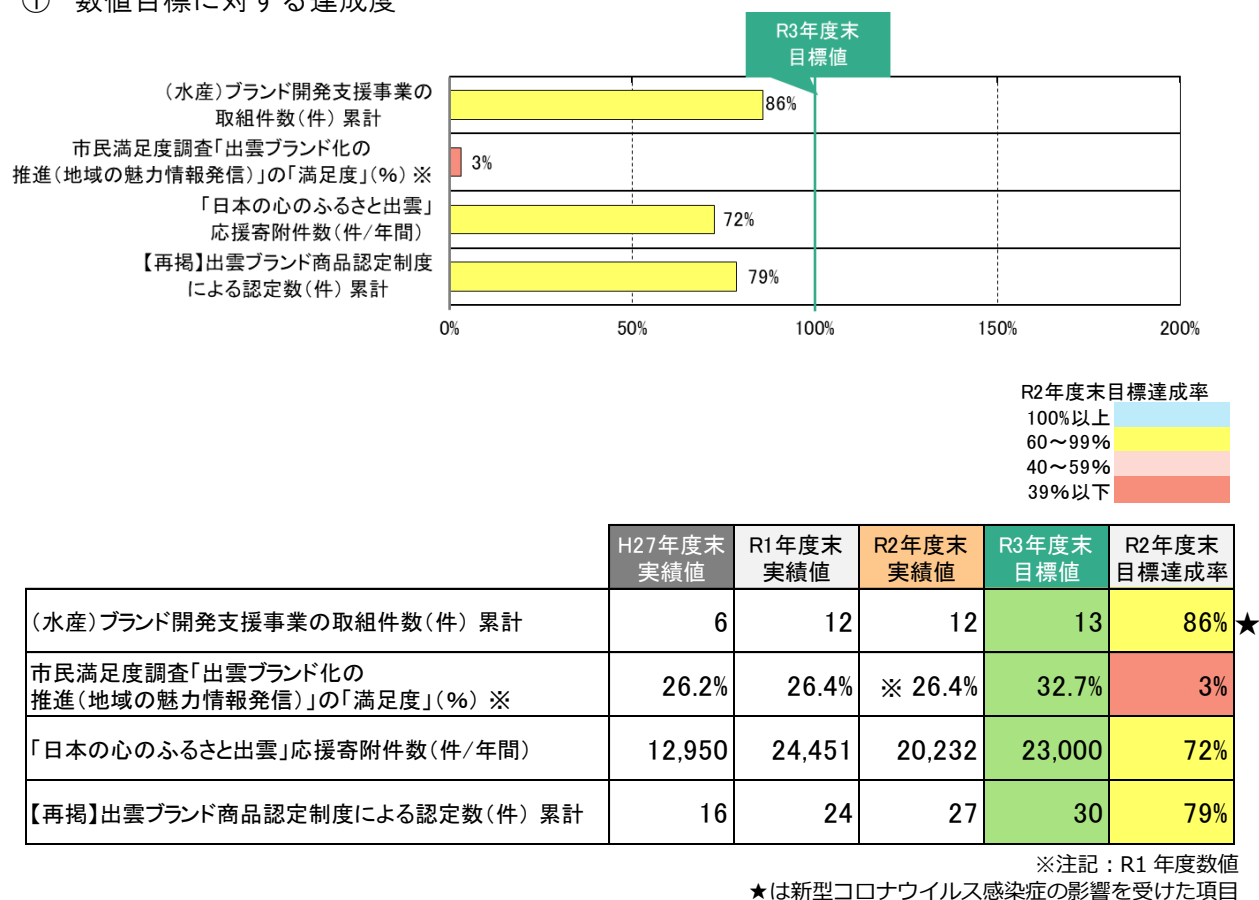
| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                       | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                  | 担当課                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| <b>【農業の振興】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能支払交付金については、取組面積の拡大につながった。</li> <li>●宍道湖西岸地区の国営農地再編整備事業に着手した。</li> <li>●防災重点農業用ため池の指定を行った。</li> <li>●農林道施設の長寿命化修繕計画を策定した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●多面的機能支払交付金事業が、継続できるよう支援を強化し、取組地域の拡大や組織の広域化を進めていく。</li> <li>●国営農地再編整備事業は国・県と一体になり取り組む。</li> <li>●農業用ため池の廃止、修繕について、長期計画を策定し、基本的な方向性を示す必要がある。</li> <li>●農林道施設長寿命化修繕計画を計画的に実施する。</li> </ul> | 農業振興課<br><br>農林基盤課 |
| <b>【森林・林業施策の推進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国県補助対象外の林業施策に市独自の補助を行った。</li> <li>●松くい虫被害対策を実施した。</li> <li>●有害鳥獣対策として、防護柵や捕獲檻等の設置を支援した。</li> <li>●里山林の整備、森林環境教育、木育を行った。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●森林環境譲与税の活用により、路網整備や施業集約化を進め、新規就労者数や集落営林組織数の維持・増加を図る。</li> <li>●里山林整備、病虫害対策を行うことで、水源涵養や災害の防止を図る。</li> <li>●農林産物の被害を防ぐため、引き続き、有害鳥獣対策の強化を図る。</li> </ul>                                    | 森林政策課              |
| <b>【水産業の振興】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者に対して施設整備や放流事業等への支援を行ったが、目標とする魚価を達成できなかった。</li> <li>●漁業者の労力軽減と安全確保、漁港の長寿命化を推進した。</li> </ul>                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●水揚額の増加や水産資源の維持・増大、魚食普及により、所得の向上・安定を図る。</li> <li>●漁港施設の機能保全工事を計画的に行い、漁業者の安全を確保する。</li> </ul>                                                                                             | 水産振興課              |



| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                       | 担当課                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| <p>【人材の育成確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規林業就業者に係る社会保険料等の一部補助をした。</li> <li>●新規就農者への初期投資への負担軽減を図った。</li> <li>●新規漁業者に対して船舶整備等助成、経営体に対し雇用支援を行った。新規就労者は目標値を上回った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●県と連携しながら、担い手の確保、育成をしていく。</li> <li>●林業の省力化を進めることで新規林業従事者の増加を図る。</li> <li>●親元就農を促進する必要がある。</li> <li>●県、漁協と連携を図り、担い手を確保・育成していく必要がある。</li> </ul> | <p>森林政策課</p> <p>農業振興課</p> <p>水産振興課</p> |

### (3) 特産品開発とブランド化の推進

#### ① 数値目標に対する達成度



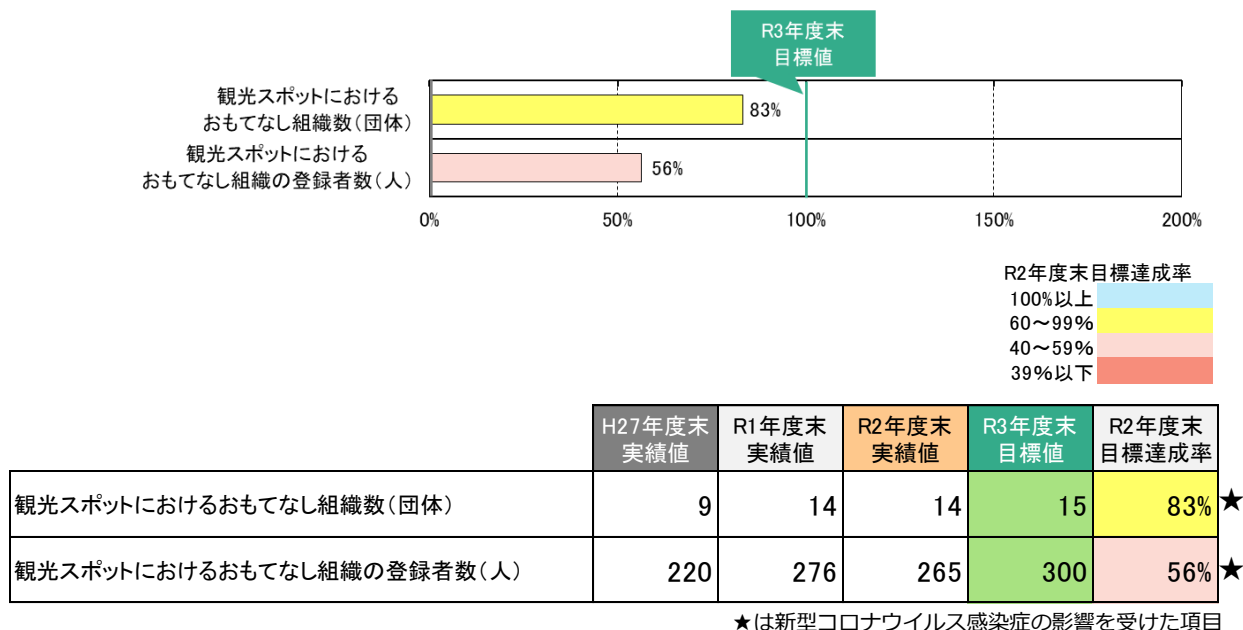
#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                        | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                        | 担当課                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| <b>【地域特性を生かした特産品の開発・振興】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな加工品開発に至らなかった。</li> <li>●小伊津アマダイの中間育成・放流の実施、シジミの資源保護・販売促進を支援した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●定着している既存品目の振興に向けた関係機関の役割の検討、担い手の確保が必要。</li> <li>●引き続き取り組む。</li> </ul>                                         | 農業振興課<br><br>水産振興課 |
| <b>【出雲ブランドの確立】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲大社の大遷宮に合わせ、出雲シティセールス事業をすすめ、様々な媒体による情報発信を実施した。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、効果的な手法を検討しながら、情報発信していく必要がある。</li> <li>●「出雲」のブランド力と「縁結び」のイメージを活用した情報発信により、交流人口や関係人口の増加につなげていく。</li> </ul> | 政策企画課              |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                           | 課題と次期計画における方向性                                                                                                         | 担当課    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲PR動画やY o u T u b e 配信に努めた。</li> <li>●「早出しデラウェア」の促進、6次産業化の推進、G A P 認証取得支援、新規作物（小豆）の販促活動などに取り組んだ。</li> <li>●大社御縁鰯のブランド化に助成した。</li> <li>●ヤマタノオロチをデザインした車のナンバープレートの導入により、情報発信した。</li> <li>●21世紀出雲「神在月」出雲文化振興条例に基づき「神在月出雲」の情報発信をした。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●一定数の動画視聴者を確保したが、PR効果についての測定が困難。</li> <li>●ターゲットを明確にし、戦略的な情報発信をめざす。</li> </ul>  | 政策企画課  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●販売について、J A の取組に依るところが大きい。</li> <li>●「出雲」に加え、新鮮、おいしいのイメージを持たせる取組が必要。</li> </ul> | 農業振興課  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業者が行うブランド化の取組への支援が必要。</li> </ul>                                              | 水産振興課  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、活動に取り組む。</li> </ul>                                                       | 縁結び定住課 |

## (4) 歴史文化遺産と観光資源の発信

### ① 数値目標に対する達成度

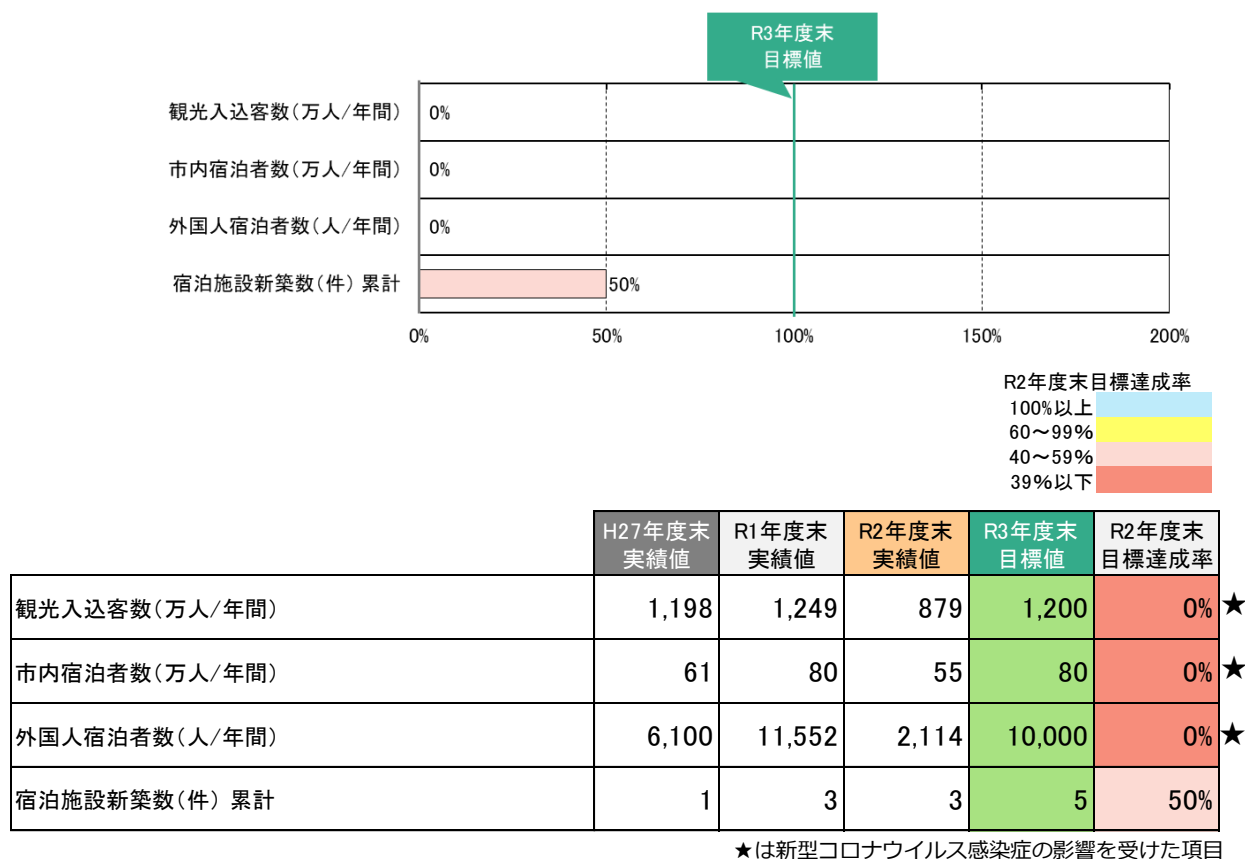


### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                              | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                      | 担当課                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <b>【歴史文化のシンボル空間整備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ご縁広場をリニューアルし、出雲大社から旧大社駅までのまち歩きを促進する道の駅にした。</li> <li>●神門通り線の整備をすすめてきた。また、門前町に相応しい景観の保全・形成に努めた。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●まち歩きの促進が課題であり、賑わい創出による滞在時間延長を図っていく。</li> <li>●旧大社駅保存修理工事終了後の利活用策を検討する。</li> <li>●出雲大社の参詣道にふさわしい歩行空間の形成により、賑わいを創出する。</li> <li>●神門通り地区の修景整備助成制度を5年延長し、景観保全・形成に努める。</li> </ul> | 観光課<br><br><br><br><br><br><br>都市計画課<br>建築住宅課 |
| <b>【出雲観光ブランドの開発と情報発信】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲大社の大遷宮により、観光入り込み客数は高い水準である。日本遺産「日が沈む聖地出雲」、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」及び「国立公園満喫プロジェクト」にもとづく、日御碕・鷺浦エリアを中心に、体験プログラム等の受入れ環境向上の取組ができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。市内宿泊を増加させる工夫が必要。</li> <li>●「通過型観光」から「滞在型観光」への転換を図っていく。</li> <li>●アニメコンテンツの活用などによる、新たな誘客や「冬の出雲」の魅力発信をしていく。</li> <li>●デジタルマーケティングを活用する。</li> </ul>      | 観光課                                           |

## (5) 観光ネットワークの整備と拡充

### ① 数値目標に対する達成度



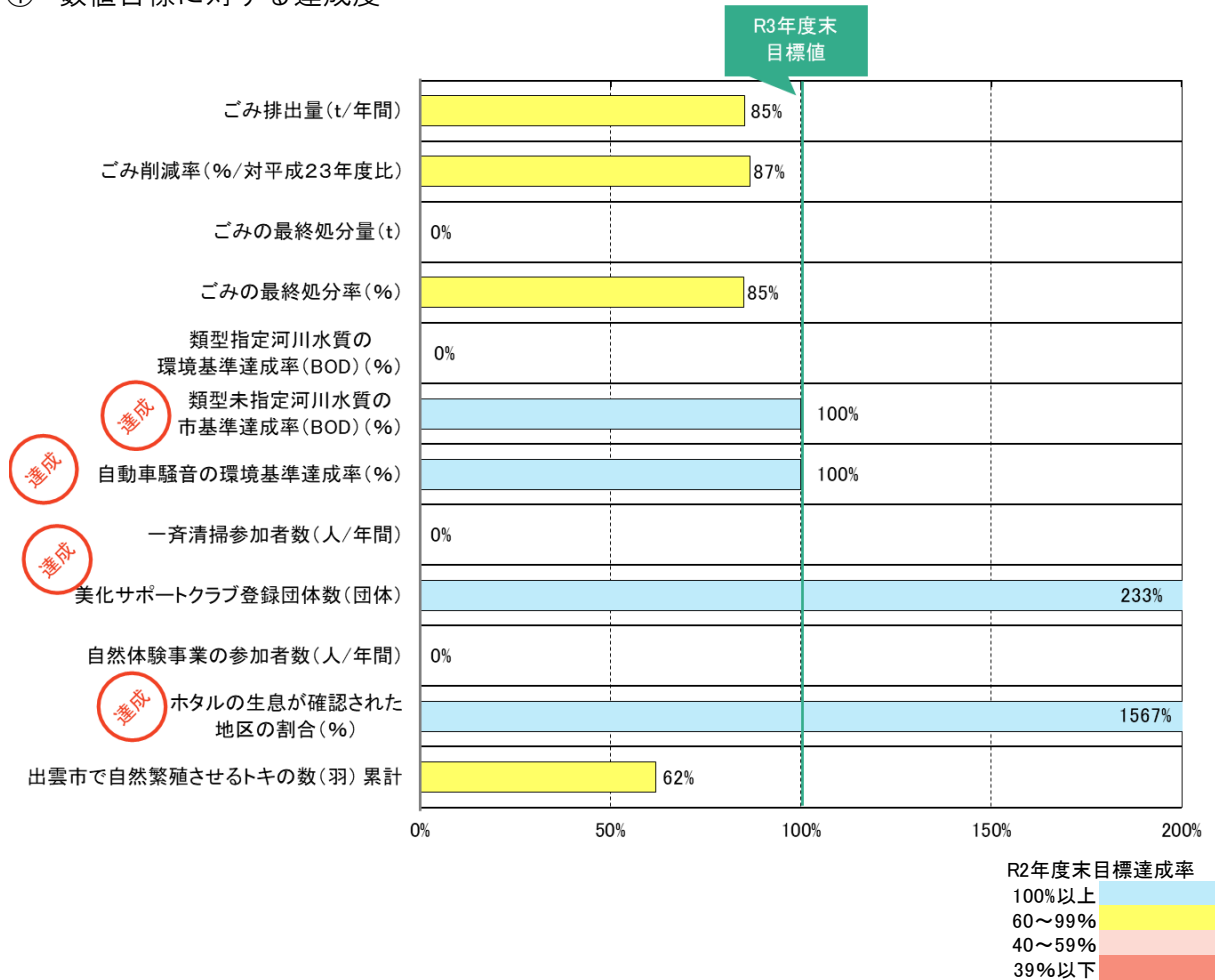
### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                           | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                | 担当課 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| <b>【観光資源の整備、ネットワーク化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●クルージング、トレッキングなどの体験プログラムによる交流人口の拡大が図られた。</li> <li>●出雲周遊観光タクシー「うさぎ号」により、観光客の滞在時間の拡大に寄与した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内宿泊を増加させる工夫が必要。</li> <li>●着地型旅行商品の充実、「うさぎ号」の認知度の向上などによる滞在時間の延長、連泊などに取り組む。</li> </ul> | 観光課 |
| <b>【観光振興・支援体制の整備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出雲観光協会の法人化、旅行業取得による財源を含む体制強化が図られた。</li> <li>●市内3か所における観光案内所において観光情報を提供した。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内宿泊を増加させる工夫が必要。</li> <li>●関係団体と連携を強化し、観光地づくりをすすめる。また、観光協会の体制強化を図る。</li> </ul>        | 観光課 |

### 3. 環境・文化都市の創造

#### (1) 環境先進都市の構築

##### ① 数値目標に対する達成度



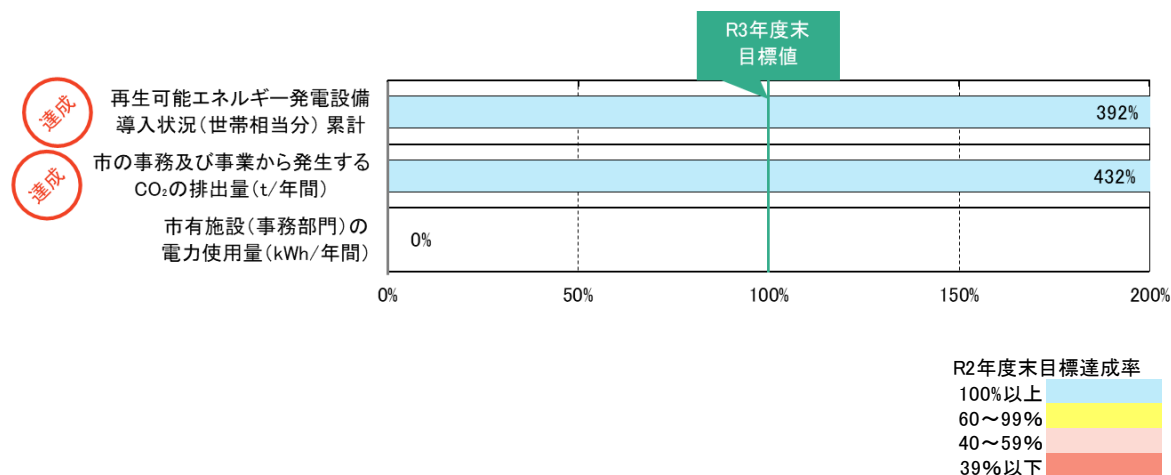
|                          | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|--------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| ごみ排出量(t/年間)              | 60,961        | 61,233       | 58,525       | 58,105       | 85%            |
| ごみ削減率(%/対平成23年度比)        | △2.7%         | △2.2%        | △6.6%        | △7.2%        | 87%            |
| ごみの最終処分量(t)              | 8,237         | 8,970        | 9,294        | 7,845        | 0% ★           |
| ごみの最終処分率(%)              | 13.5%         | 14.6%        | 15.9%        | 13.5%        | 85%            |
| 類型指定河川水質の環境基準達成率(BOD)(%) | 100%          | 100%         | 57%          | 100%         | 0%             |
| 類型未指定河川水質の市基準達成率(BOD)(%) | 100%          | 100%         | 100%         | 100%         | 100%           |
| 自動車騒音の環境基準達成率(%)         | 100%          | 100%         | 100%         | 100%         | 100%           |
| 一斉清掃参加者数(人/年間)           | 10,140        | 10,028       | 1,840        | 11,000       | 0% ★           |
| 美化サポートクラブ登録団体数(団体)       | 32            | 38           | 39           | 35           | 233%           |
| 自然体験事業の参加者数(人/年間)        | 13,750        | 10,303       | 5,795        | 14,000       | 0% ★           |

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目



## (2) 地球温暖化・省エネルギー対策

### ① 数値目標に対する達成度



|                                          | H27年度末実績値 | R1年度末実績値   | R2年度末実績値   | R3年度末目標値  | R2年度末目標達成率 |
|------------------------------------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|
| 再生可能エネルギー発電設備導入状況(世帯相当分) 累計              | 60,114    | 69,439     | 71,432     | 63,000    | 392%       |
| 市の事務及び事業から発生するCO <sub>2</sub> の排出量(t/年間) | 7,528     | 7,229      | 7,407      | 7,500     | 432%       |
| 市有施設(事務部門)の電力使用量(kWh/年間)                 | 9,953,540 | 10,284,582 | 10,358,035 | 9,732,300 | 0%★        |

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

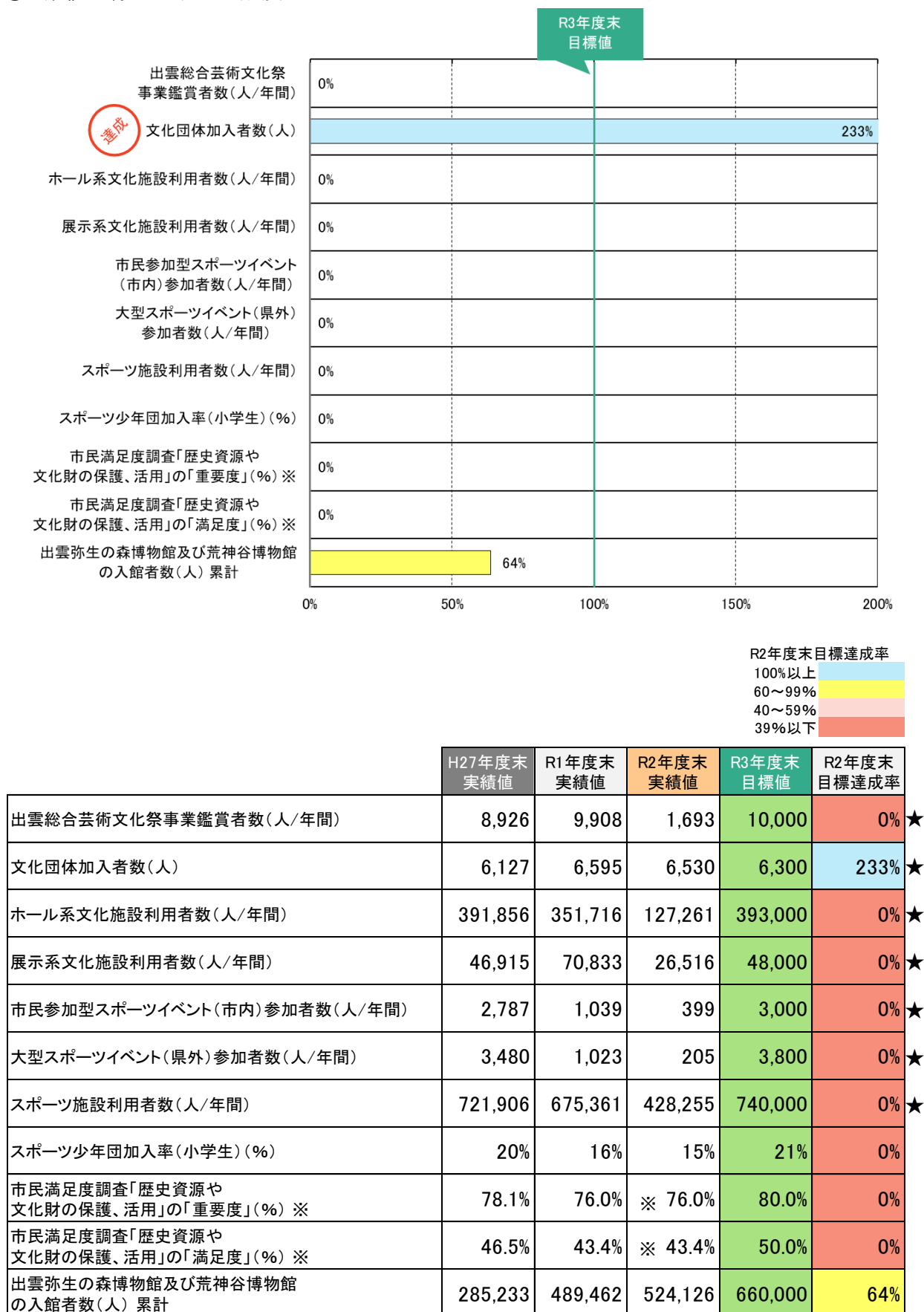
### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                             | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                          | 担当課   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【再生可能エネルギー導入・利用促進】</b><br>●住宅用太陽光発電システムは順調に導入が進み、発電量は県内市町村の中でトップ。林地残材の利活用を促進するため、出雲須佐温泉ゆかり館へ木質チップボイラーが導入された。<br>●神話の國出雲さんさん倶楽部クレジット1,942t(H25～R2)を販売し、森林再生事業に活用した。 | ●小水力発電事業は、事業化可能性調査の結果、導入には至っていない。<br>●キララトゥーリマキ風力発電所は耐用年数を経過し、機器の故障が頻発し稼働率が低下している。<br>●太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギー設備の導入の促進。<br>●バイオマス資源の利活用に向けた取組の継続やバイオマス発電所の整備・誘致の取組の検討が必要。 | 環境政策課 |
| <b>【省エネルギーの推進】</b><br>●事業所、市民一体となって、地球温暖化防止対策に取り組んだ。<br>●CO <sub>2</sub> の排出目標は達成、電力使用量は未達成。                                                                          | ●新型コロナウイルス感染症の影響により、電気使用量が増加の傾向にある。<br>●脱炭素に向け、取組を加速させる。                                                                                                                | 環境政策課 |



### (3) 芸術文化・スポーツの振興

#### ① 数値目標に対する達成度



※注記：R1 年度数値

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

## ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                 | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <b>【芸術文化の振興】</b><br>●出雲総合芸術文化祭や出雲芸術アカデミーなどを通して、鑑賞機会、発表機会の充実、芸術文化に接する機会の提供に努め、市民の積極的な参加を創出した。                                                                                                                                                              | ●事業の評価・検証等を常に行い、参加者（観覧者）が参加（観覧）しやすく、また、参加（観覧）したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努める。                                                                                                                                                                                                                                                    | 文化スポーツ課 |
| <b>【スポーツの振興】</b><br>●出雲市体育協会やスポーツ少年団により各種スポーツ大会やスポーツイベントを開催し、市民参加を創出した。また、大型スポーツイベントを開催し、スポーツの振興と共にシティセールスを推進した。                                                                                                                                          | ●新型コロナウイルス感染症拡大により、多くのスポーツ大会が中止となった。多くの市民に笑顔があふれるようスポーツに触れる機会を創出する事業を実施する。                                                                                                                                                                                                                                                   | 文化スポーツ課 |
| <b>【歴史文化遺産の保存・活用】</b><br>●出雲大社国宝本殿・重要文化財施設保存修理、鰐淵寺境内建造物保存修理、出雲国山陰道跡調査事業を完了した。田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備活用、重要文化財旧大社駅修理、荒神谷遺跡保存・改修については事業継続中。「出雲市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和3年7月に国の認定を受けた。また市内遺跡文化財の調査・研究を続行し、市民への還元等の活用・普及・啓発に努めた。<br>●平成29年に日本遺産「日が沈む聖地出雲」の認定を受け、魅力発信事業を推進した。 | ●『出雲国風土記』記載遺跡は、発掘調査の増加により予算及び体制が確保できず実施に至らなかった。また古文書等文献調査及び保全については専門研究員の人員が十分に確保できず遅滞している。<br>●新型コロナウイルス感染症拡大により、出雲弥生の森博物館及び荒神谷博物館の入客数の減少などの影響を受けている。風致維持向上計画は策定には至らなかった。<br>●風致維持向上計画は、新たに制度化された「文化財保存活用地域計画」の策定を進める必要があり、策定には至らなかった。<br>●「出雲市文化財保存活用地域計画」に基づき、古文書等の調査・研究、史跡保存活用計画策定、建造物保存修理・史跡整備等による情報発信、文化財巡りルートづくりをすすめる。 | 文化財課    |

## 4. 交流拠点都市の創造

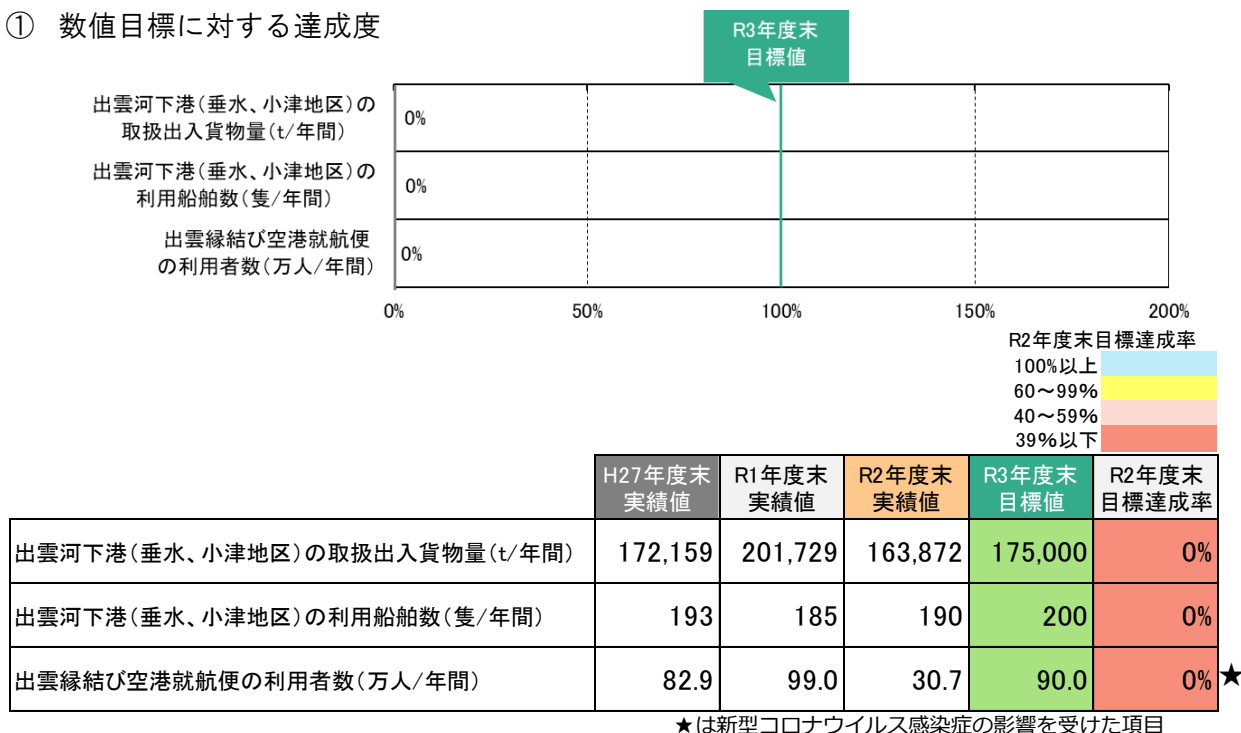
### (1) 都市機能の充実

#### ① 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                  | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                 | 担当課   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <p>【中心市街地の整備】</p> <p>●中心市街地の整備（街路事業）<br/>市街地内の環状道路である医大前新町線・高砂町渡橋線をはじめ、幹線道路を計画的に整備促進し、都市基盤の整備を図った。</p> <p>① 都市計画道路出雲市駅前矢尾線（県）<br/>⇒ 整備完了</p> <p>② 都市計画道路下沢高西線（市）<br/>⇒ 整備完了</p> <p>③ 都市計画道路医大前新町線（市）、都市計画道路高砂町渡橋線（市）<br/>⇒ 中心市街地の中環状線として、計画的に整備を進めている。</p> | <p>●中心市街地の整備（街路事業）都市計画道路医大前新町線（市）、都市計画道路高砂町渡橋線（市）中心市街地の中環状線として、引き続き整備を進める。</p> <p>●未着手の路線については、施工中の路線の整備状況を見ながら着手時期等を検討する。</p> | 都市計画課 |
| <p>【東部都市拠点の整備】</p> <p>●平田地域市街地整備</p> <p>① 都市計画道路中町瑞穂大橋線（県）<br/>⇒ 整備完了</p> <p>② 都市計画道路元町中の島線（市）<br/>⇒ 整備完了</p>                                                                                                                                              | <p>●平田地域市街地整備<br/>本市と松江市を結ぶ交通の要衝であり、第二の都市核である平田地域において、街路整備を促進し、東部都市拠点としての都市基盤整備を図る。</p>                                        | 都市計画課 |

## (2) 広域交通網の整備

### ① 数値目標に対する達成度



### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                      | 担当課   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【高速道路等の整備促進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山陰道の整備促進について、国は、出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通予定を令和6年度と示した。山陰道の供用率は66%と全国供用率の88%に比べ遅れている。</li> <li>●高規格道路境港出雲道路の整備促進について、県知事要望において要望を継続、令和3年度本道路の一部である松江北道路が新規事業化された。</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●山陰道について、ミッシングリンク解消に向けて国、県への要望を継続する。</li> <li>●境港出雲道路について、県は松江北道路の整備を優先する方針である。このような中、国は令和2年度にこの圏域における8の字ルートの必要性を認めた。</li> <li>●境港出雲道路について、ミッシングリンク解消に向けて、本道路整備の必要性を強く国、県に要望していく。</li> </ul> | 建設企画課 |
| <b>【国道改良及び交通安全施設等整備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国道9号の整備促進について、神戸橋神西沖線4車線化及び神西小入口交差点以西の歩道整備は未着手。直江交差点の改良整備は、令和3年度完成予定。出雲バイパス4車線化整備は、令和2年度一部区間事業採択。</li> <li>●国道431号の整備促進について、国富工区は事業中、布崎工区は令和2年度に新規事業化された。</li> <li>●国道184号の整備促進について、乙立工区は事業中、佐田地内は県知事要望しているが未着手。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●国道9号の整備促進について、未着手の工区及び出雲バイパス全線4車線化を、国、県へ強く要望していく。</li> <li>●国道431号の整備促進について、引き続き県知事重点要望を行う。</li> <li>●国道184号の整備促進について、引き続き県知事重点要望を行う。</li> </ul>                                            | 建設企画課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                             | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                          | 担当課            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <p>【出雲河下港の利用及び整備促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖防波堤の完成について目途がたった。</li> <li>● 河下港臨海工業団地への進出や港湾利用に向けたポートセールスを実施した。</li> <li>● 市・県の若手職員によるワーキンググループを立ち上げ、利活用についての意見・アイデア出しを行った。</li> </ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次期河下港の整備について県に働きかけていく。</li> <li>● 沖防波堤完成後の港の利活用について、港湾としての利活用及び地域活性化に繋がる拠点としての在り方を検討する。</li> </ul>                                                             | 建設企画課<br>産業政策課 |
| <p>【出雲縁結び空港の整備・利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関の取組により、静岡線・仙台線の新規就航、大阪便の早期ジェット機化、福岡路線の後期機材の早期導入等を実施することができた。また、令和元年度までは2年連続で利用者が概ね100万人を達成することができた。</li> <li>● 令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の感染防止策により、大幅な利用者減となっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出雲縁結び空港の整備・利用促進の取組は、本市の産業振興・観光振興・文化交流の促進と発展に資するものであり、利用者数の回復と更なる利用増に向け、引き続き出雲縁結び空港の整備・利用促進の取組を継続する。</li> </ul>                                                 | 交通政策課          |
| <p>【鉄道の整備促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 島根県鉄道整備連絡調整協議会に参画し、鉄道の利用促進事業やJRへの要望活動を行った。</li> <li>● 鉄道の高速化については、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議等により関係自治体等とともに国や国会議員への要望や機運醸成を図るための啓発活動等を行った。</li> </ul>                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新幹線については、今後の進展が期待される状況であることから、速やかに地域全体の機運醸成を図り、地元の熱意を国へ届けていくことが必要である。</li> <li>● 鉄道は、地域内だけでなく、広域交通ネットワークの構築には不可欠なものである。今後も関係機関と連携し、各協議会等による取組を継続する。</li> </ul> | 交通政策課          |

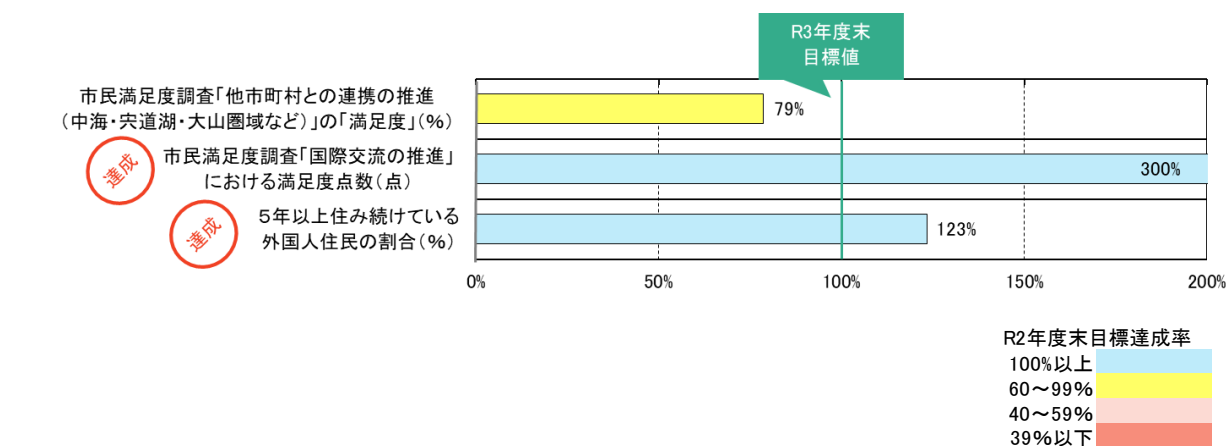
### （３）地域内幹線道路の整備

### ① 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                             | 担当課                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <p>【県道及び交通安全施設等整備】</p> <p>●主要地方道出雲三刀屋線について、上塩冶工区及び上島工区事業中。トンネル工区は、未着手。</p> <p>●主要地方道斐川一畑大社線について、平成29年度から猪目工区に着手、平成30年度に相代工区が完了。現在、地合工区、鷺浦工区及び猪目工区事業中、美保～塩津間及び河下～猪目間の災害防除実施中。</p> <p>●主要地方道出雲奥出雲線について、野尻2工区事業中。</p> <p>●一般県道斐川上島線について、武部2工区事業中。</p> <p>●一般県道出雲平田線について、川跡2工区及び西代工区事業中。</p> <p>●一般県道大社立久恵線について、乙立工区事業中。</p> <p>●その他の県道について、県知事へ事業の促進及び未整備路線の早期事業化着手の要望を継続。令和2年度に一般県道矢尾今市線（大塚工区）が完成。</p> | <p>●主要地方道出雲三刀屋線について、事業中工区は、用地交渉の難航などあり残区間の着手に至っていない。</p> <p>●一般県道大社立久恵線の未改良区間について、地形条件、予算の面から着手に至っていない。</p> <p>●主要地方道出雲三刀屋線及び一般県道斐川上島線の骨格幹線道路について、県は令和11年度までに完了させるとしている。また、現在事業中の他の路線についても、令和15年度までの完了を目標としており、早期完成に向け、引き続き県知事重点要望を行う。</p> | 建設企画課                                    |
| <p>【市道及び交通安全施設等整備】</p> <p>●地方道改修事業（都市計画課）<br/>計画的に整備を行っている。</p> <p>① 市道来原線<br/>⇒ 整備完了</p> <p>② 市道大津一の谷天神線<br/>⇒ 整備完了</p> <p>③ 市道斐川2267号線（莊原中央線）<br/>⇒ 整備完了</p> <p>●「幹線市道整備10か年計画」に基づく整備を進め、令和2年度末までに10路線が完成し、令和3年度末に4路線完了予定である。</p> <p>●生活道路については、要望に基づき改良整備を進めてきた。</p>                                                                                                                              | <p>●地方道改修事業<br/>都市計画道路の見直しに伴い、交通安全・防災面等において課題の残っている路線について引き続き計画的に整備を行う。</p> <p>●計画にあげた路線のうち、4路線が未着手である。地元関係者等との調整が進まなかったことや、国からの交付金の減額など財政的な問題から進捗に遅れが生じた。</p> <p>●住民の要望にきめ細かく応えながら、地域の生活環境を向上させていく事業として、これまでどおり継続したい。</p>                 | <p>都市計画課</p> <p>道路建設課</p> <p>道路河川維持課</p> |

## (4) 広域連携・他圏域との交流

### ① 数値目標に対する達成度



|                                                  | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|--------------------------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 市民満足度調査「他市町村との連携の推進<br>(中海・宍道湖・大山圏域など)」の「満足度」(%) | 18.6%         | 19.7%        | ※ 19.7%      | 20.0%        | 79%            |
| 市民満足度調査「国際交流の推進」<br>における満足度点数(点)                 | 1.4           | 2.3          | ※ 2.3        | 1.7          | 300%           |
| 5年以上住み続けている外国人住民の割合(%)                           | 30.4%         | 29.7%        | 37%          | 30%台         | 123%           |

※注記：R1 年度数値

### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                       | 担当課   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【広域連携・他圏域との交流】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中海・宍道湖・大山圏域市長会では、人口減少対策など地域課題の解決に向けた取組を推進することができた。また、経済界とも連携し、インド、台湾との経済交流を促進させ、市内企業の海外展開を支援することができた。</li> <li>●出雲の国・斐伊川サミットでは、トロッコ列車「奥出雲おろち号」の活用を柱とした広域観光の推進、平成29年度には設立10周年記念事業として「スローライフ・フォーラム in 出雲の国」を開催した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●圏域市長会事業は、高速道路ネットワークの整備などハード面も含め、圏域の一体的発展に資するものであり、人口減少対策等圏域の課題解決に有効である。引き続き取組を継続する。</li> </ul>                               | 政策企画課 |
| <b>【国際・国内交流活動の推進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中高生の海外姉妹都市等への相互派遣を実施し次代を担う国際感覚あふれる青少年の育成を図ることができた。また外国人住民の増加により、行政サービスへのニーズも多様化してきている。「多文化共生推進プラン」を策定し、官民協働により多文化共生事業を実施することができた。</li> </ul>                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●中高生を引き続き姉妹都市等へ派遣していく。</li> <li>●外国人住民の増加により、言葉が通じないことによる問題が生じている。市、学校を始めとして各民間団体や企業等と連携を取りながら、多文化共生を更に進めていく必要がある。</li> </ul> | 政策企画課 |

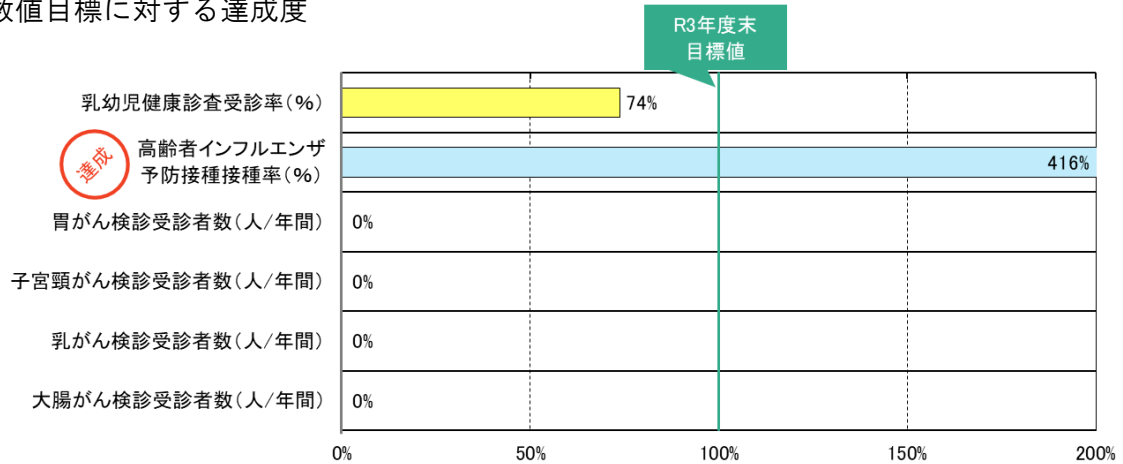
| 取組内容と達成状況                                                  | 課題と次期計画における方向性                                           | 担当課    |
|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------|
| <b>【国際・国内交流活動の推進】</b><br>●市内の国際交流団体が行う活動に対して補助金を交付した。      |                                                          | 政策企画課  |
| ●各出身者会のネットワーク維持・拡大を支援することで、ふるさと応援団として市の情報発信やふるさと納税への協力を得た。 | ●ふるさと応援団としての各出身者会に対し、必要な支援を継続し、市の情報発信やふるさと納税に対する協力を得ていく。 | 縁結び定住課 |



## 5. 健康・福祉都市の創造

### (1) 生涯にわたる健康づくりの推進

#### ① 数値目標に対する達成度



R2年度末目標達成率  
 100%以上  
 60～99%  
 40～59%  
 39%以下

|                      | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |
|----------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 乳幼児健康診査受診率(%)        | 98.1%         | 99.2%        | 99.5%        | 100.0%       | 74%            |
| 高齢者インフルエンザ予防接種接種率(%) | 57.2%         | 59.5%        | 68.9%        | 60.0%        | 416%           |
| 胃がん検診受診者数(人/年間)      | 2,347         | 1,914        | 1,002        | 2,400        | 0%★            |
| 子宮頸がん検診受診者数(人/年間)    | 3,936         | 3,219        | 3,496        | 4,200        | 0%★            |
| 乳がん検診受診者数(人/年間)      | 3,285         | 3,234        | 2,852        | 3,300        | 0%★            |
| 大腸がん検診受診者数(人/年間)     | 13,482        | 11,121       | 10,973       | 13,500       | 0%★            |

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

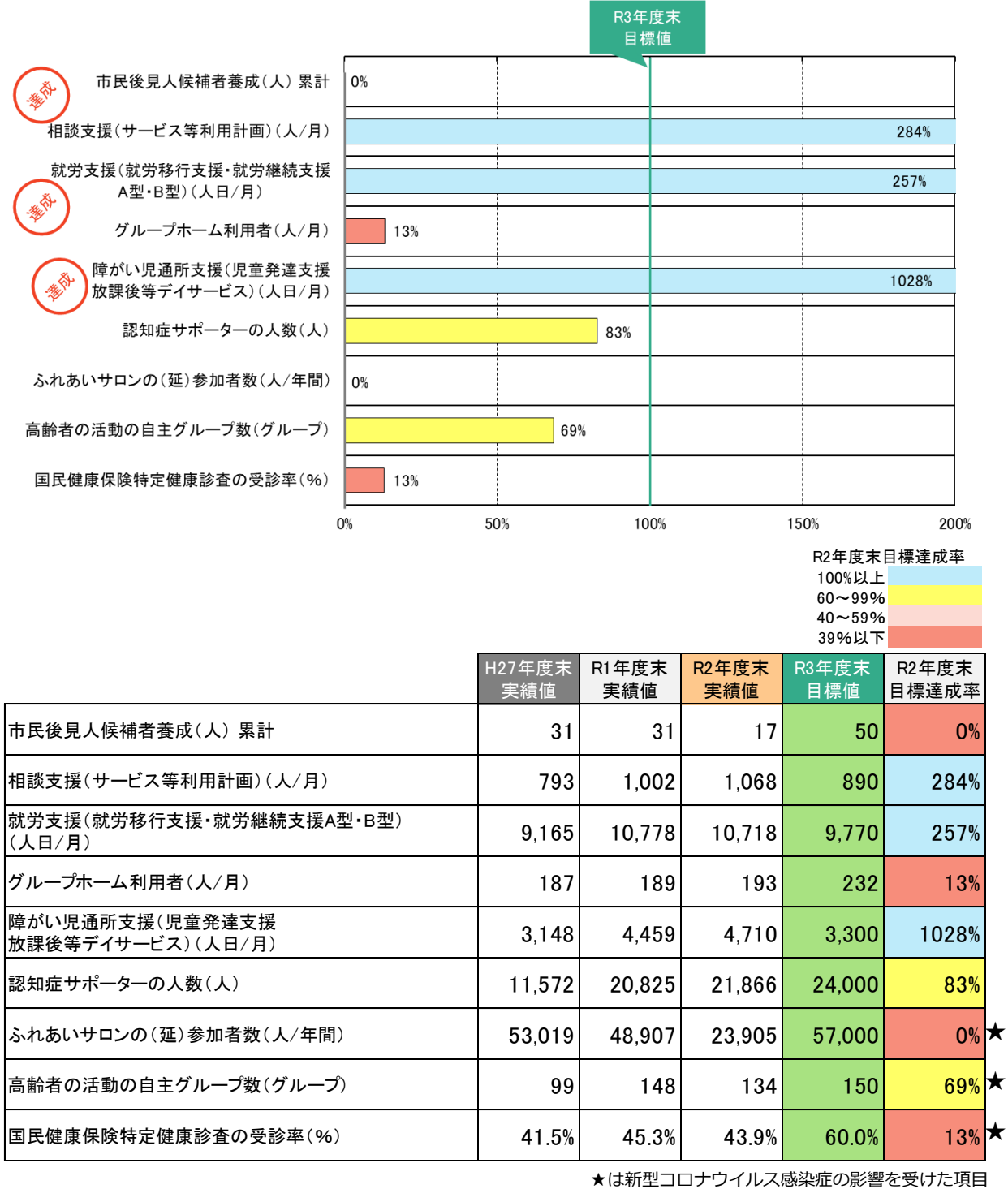
#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                          | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                           | 担当課   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>【母子保健施策の推進】</b><br>●妊産婦健康診査や不妊・不育症治療費助成等の経済的負担の軽減等に努めた。<br>●育児不安の軽減に向け、全戸訪問や産後ケア事業、子育てサポーターの育成・配置やコミセンごとの学習支援などを行った。<br>●乳幼児健康診査の実施、歯や食事・メディア等基本的生活習慣の学習の機会の提供を行った。さらに、思春期の学習の機会及び思春期の居場所を提供した。 | ●核家族化やメンタルヘルス等で、支援を要する家庭が増加しているため、産前から産後のサポートの充実をはかり、関係機関や地域と連携した親支援を引き続き行っていく。<br>●乳幼児健康診査の受診率の向上やフォロー体制の強化、基本的生活習慣を身につけるための学習の機会の提供を関係機関や地域と連携して行っていく。 | 健康増進課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                      | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                             | 担当課                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| <b>【母子保健施策の推進】</b><br>●発達上の支援について、専門医に相談する機会を提供した。<br>●心理相談員による保育所巡回により支援の充実を図った。                                                                                                              | ●支援の必要な児の増加により、医療機関や療育等の待機期間が長期化している。<br>●発達クリニックや保育所巡回を継続実施する。                                                                                            | 子ども政策課               |
| <b>【健康づくりの推進】</b><br>●コミュニティセンター単位で健康づくり活動ができた。<br>●心の健康づくりなどの普及啓発や健診・がん検診受診勧奨を実施した。<br>●食生活改善を関係機関・団体等と連携し取り組んだ。<br>●後期高齢者の保健事業について、健診に新たにフレイル状態のチェックを盛り込み、把握した課題に対するきめ細やかな支援（個別指導・集団指導）を始めた。 | ●地域ぐるみの健康づくり活動を推進する。また、関係機関・団体や職域と連携し、ヘルスリテラシーの向上を図るための対策を推進する。<br>●特定健診・がん検診の受診に向けて、受診率の低い層に効果的な勧奨方法を検討する必要がある。<br>●課題を抱えるより多くの高齢者に対し、積極的な保健事業を実施する必要がある。 | 健康増進課<br><br>医療介護連携課 |
| <b>【保健・健康増進施設の整備・活用】</b><br>●出雲ゆうプラザにおいて、子どもから、成人・高齢者まで、多種多様な運動プログラムを提供した。<br>●保健センター等が地域の健康増進活動の場として利用しやすい状況にすることができた。                                                                        | ●地域の自主的な活動のサポートや、出雲ゆうプラザにおける年齢層に応じた運動プログラムを提供する。                                                                                                           | 健康増進課                |

(2) ぬくもりのある福祉サービスの充実

① 数値目標に対する達成度



② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                     | 課題と次期計画における方向性                                         | 担当課   |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------|
| 【地域福祉施策の推進】<br>●社会福祉協議会と連携し、住民の抱える課題や福祉ニーズに対応するための体制構築に取り組んだ。 | ●住民の課題や福祉ニーズが複雑化・複合化する中、関係機関が連携し課題の解決を図る体制を充実させる必要がある。 | 福祉推進課 |

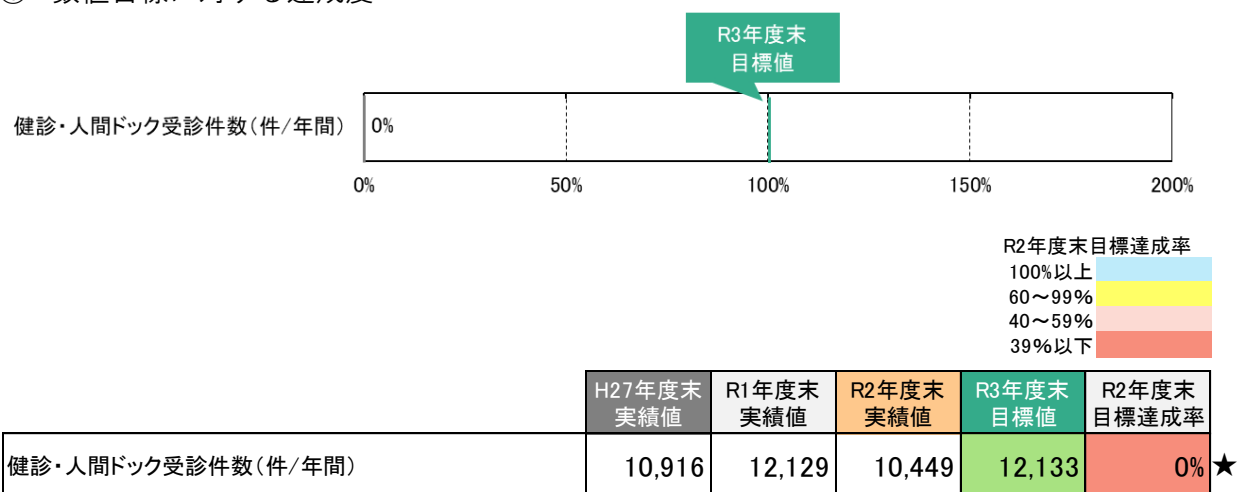
| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                   | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                  | 担当課                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| <p>【地域福祉施策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティアまちづくりセンターについて支援を行い、ボランティア養成講座の開催など地域における福祉活動の担い手の育成に繋げた。</li> <li>●判断能力が十分でない人のために、権利擁護センターや成年後見センターと連携して、市民後見人候補者を養成した。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>●住民が幅広く福祉活動に参加できるように取組を進める。<br/>関係機関が情報共有し、個々のニーズに沿った福祉サービスを提供できる体制を整備する。</li> <li>●市民後見人が受任するに適した案件がない。</li> </ul>                      | <p>福祉推進課</p> <p>高齢者福祉課</p> |
| <p>【障がい者（児）福祉施策の充実-啓発活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者（児）の自立や社会参加の促進に向け、相談・支援に取り組んだ。市民の障がいに対する理解を深めるための広報活動や、市民・事業所に対して研修を実施した。</li> <li>●平成29年度に「出雲市手話の普及の推進に関する条例」を施行した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がいに対する理解を深めるため、広報活動を展開していくとともに、引き続き「あいサポーター研修」を学校、地域及び職域等において実施する。</li> <li>●手話出前講座及び学校での手話講座の開催等を通して、手話への市民の理解を深め、普及を推進する。</li> </ul> | 福祉推進課                      |
| <p>【障がい者（児）福祉施策の充実-地域生活支援体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の相談支援や緊急時の支援体制機能をもった「地域生活支援拠点」事業を開始した。</li> </ul>                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域生活支援拠点」の機能を持つ事業所の拡大や相談支援専門員との連携による支援体制の充実を図る。</li> </ul>                                                                             | 福祉推進課                      |
| <p>【障がい者（児）福祉施策の充実-社会参加の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●相談支援専門員の研修や相談支援の充実、各種機関との連携などの活動を行った。また、各種助成等を実施した。</li> <li>●障がい者の文化芸術活動の発表の場、地域住民と触れ合う機会を提供した。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域での障がいに対する理解とともに、支援者との連携が必要である。</li> <li>●文化活動、スポーツ活動に加え、障がい者の家族を含めた地域での活動に対する支援を行う。</li> </ul>                                        | 福祉推進課                      |
| <p>【障がい者（児）福祉施策の充実-保健、学校、医療の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校や医療機関、相談支援専門員との連携による障がい福祉サービスの支援を行った。</li> </ul>                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい福祉サービス等の提供体制の整備や確保が必要である。</li> </ul>                                                                                                 | 福祉推進課                      |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 担当課     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <p>【障がい者（児）福祉施策の充実-権利擁護の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「出雲市障がい者差別相談センター」を開設し、当事者や関係者からの障がい者差別等に関する相談や解決支援に取り組むとともに、市ホームページ、ケーブルテレビ等での広報及び出前講座の実施等により、権利擁護に対する市民の意識向上に努めた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「出雲市障がい者差別相談センター」を中心に、当事者や関係者からの障がい者差別等に関する相談や解決支援に取り組むとともに、権利擁護に対する市民の意識向上を図る。</li> </ul>                                                                                                                                                                                | 福祉推進課   |
| <p>【高齢者施策の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の基盤整備を介護保険事業計画どおりに整備できた。</li> <li>●介護人材の確保・定着に向けた取組を実施したが、人材の不足の解消には至っていない。</li> <li>●高齢者が、積極的に社会参加ができるよう高齢者クラブ、シルバー人材センターの活動を支援した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業廃止に至る事業所の主たる要因が、介護人材不足である。</li> <li>●介護業界のイメージアップ発信や、若年層や中高年齢者、市内在住外国人等向けに、介護見学会や講座など実施する。</li> <li>●社会情勢の変化や個人の価値観から会員数が減少してきている。引続き活動の支援を行う。</li> </ul>                                                                                                               | 高齢者福祉課  |
| <p>【高齢者施策の充実－安心して暮らせる地域づくり】</p> <p>〈在宅医療・介護の連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医療・介護関係者の連携の深化のため、研修会等の開催の支援や、情報提供方法の統一化を進めるとともに、「出雲市入退院連携ガイドライン」を策定した。</li> </ul> <p>また、医療・介護関係者の相談窓口として「在宅医療・介護連携支援センター」を運営してきた。</p> <p>〈認知症ケアの推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「認知症サポーター養成講座」の受講者が、令和3年3月末時点で21,866人に達するなど、地域の理解促進を図った。</li> </ul> <p>〈生活支援体制整備事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会福祉協議会に配置した「生活支援コーディネーター」とともに、住民の互助組織である「たすけあい活動団体」の立ち上げを支援し、生活支援サービスの充実を図った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●医療・介護関係者が連携した円滑な入退院支援のため、ガイドラインの定着を図っていくとともに、定期的な運用確認を行い、必要に応じて改正していく必要がある。</li> <li>●講座受講者、理解者から一歩前に進み、地域や企業において、認知症高齢者や家族を支える取組に関わる人材を育てていく必要がある。</li> <li>●たすけあい活動団体は、着実に増えているが、他方で、地域での支え合いの必要性についての意識や考え方は、地域間や世代間で様々である。「お互い」を助け合いながら暮らしていける地域づくりが重要である。</li> </ul> | 医療介護連携課 |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                              | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                         | 担当課                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <p>〈高齢者あんしん支援センター〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者あんしん支援センターに、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師を配置し、高齢者の様々な相談や支援を行った。</li> </ul> <p>〈地域ケア会議〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域ケア会議」を開催し、高齢者に共通する課題を抽出し、関係機関と連携した課題解決に取り組んだ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●複雑化・多様化する高齢者の課題に対して、しっかりと対応できる適正な人員配置をするとともに、地域の専門機関とのネットワークの構築等の機能強化を図っていく必要がある。</li> <li>●地域ケア会議は、地域課題の把握と解決に向けた取組を強化する必要がある。</li> </ul>                                                     | 医療介護連携課                                   |
| <p>【高齢者施策の充実-介護予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●介護予防、認知症予防に係る普及啓発を図り、意欲のある高齢者をプログラム参加につなげてきた。</li> <li>●高齢者自らが介護予防に取り組む「通いの場」の立ち上げや、地域が運営する「高齢者ふれあいサロン」の運営支援、運動の導入促進に努めた。</li> </ul>                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●健診結果などに基づき、優先度の高い高齢者に対し、積極的にプログラムへの参加を促していく必要がある。</li> <li>●「通いの場」の立ち上げ、継続を図るため、まとめ役を確保し、活動につなげる支援が求められる。</li> <li>●引き続き、総合事業における訪問型・通所型サービスによる重度化の防止と、住民の支え合いによる高齢者の生活維持を進める必要がある。</li> </ul> | 医療介護連携課                                   |
| <p>【医療保険制度の安定運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎年、関係部局で構成している出雲市収納対策本部において、収納率向上対策を確認し取り組んできた。</li> <li>●特定健診については、対象者に応じた受診勧奨を行い、受診率の向上に取り組んだ。医療費適正化は、一定の効果をあげている。国民健康保険料、後期高齢者医療保険料のコンビニ収納による収納率向上に取り組んでいる。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●収納率等の具体的な数値目標を設定し、目標達成に向け取り組む。</li> <li>●徹底した財産調査を行い、法に基づく滞納市税等の徴収を強力に推進していく。</li> <li>●特定健診の受診勧奨及び保健事業の推進により、被保険者の健康増進、重症化予防を図る。医療費適正化対策を継続的に実施し、抑制に努める。</li> </ul>                           | <p>収納課</p> <p>健康増進課<br/>保険年金課<br/>収納課</p> |

### (3) 地域特性を生かした医療体制の充実

#### ① 数値目標に対する達成度



★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                        | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| <b>【質の高い効率的な医療の提供】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●総合医療センターでは、高度急性期病院の後方支援を行うとともに、急性期～回復期～在宅復帰まで一体的医療を提供し、さらに、訪問診療・看護・リハビリなどの在宅医療の推進に取り組んできた。また、予防医療では、病気の早期発見や疾病予防をすすめた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●総合医療センターでは、訪問診療の24時間連絡・往診体制の構築についても早期実現をめざしている。</li> <li>●総合医療センターの役割である高度急性期病院の後方支援に引き続き取り組み、在宅医療を拡充していく必要がある。そのためにも、本年9月からスタートした訪問看護ステーションの24時間化対応を安定的に運用する。</li> </ul>                              | 総合医療センター            |
| <b>【地域医療の充実】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医療過疎地の住民に対して医療を提供するため、市立診療所5か所の安定運営に取り組んだ。</li> <li>●出雲休日・夜間診療所の安定運営に取り組んだ。</li> </ul>                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後もへき地等診療所を安定運営していくためには、医師をはじめとしたスタッフの確保が最重要課題である。</li> <li>●へき地等における診療については、地域の実情や医療需要を踏まえ、必要な医療体制の確保に取り組んでいく。</li> <li>●出雲休日・夜間診療所については、引き続き出雲医師会、島根大学医学部の協力を得て運営し、圏域における初期救急医療の役割を担っていく。</li> </ul> | 総合医療センター<br>医療介護連携課 |

## (4) 保健医療・福祉の連携強化

### ① 評価検証の概要

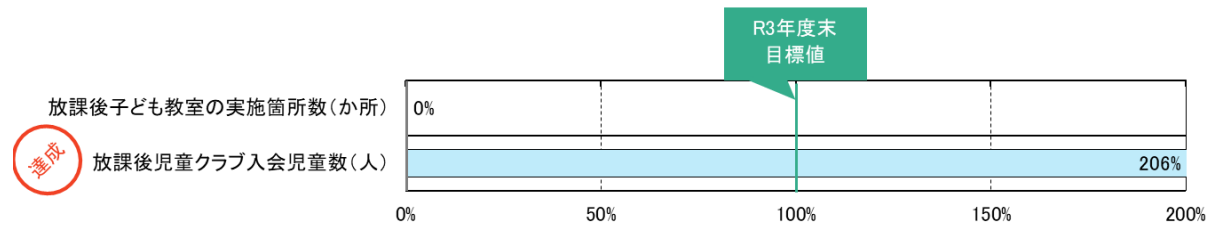
| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                    | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                | 担当課     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <p>【保健・医療・福祉ネットワークの構築・推進】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●まめネットについては、毎年、広報いずもに掲載し、広く市民にその取組の周知を図った。</li><li>●市内にある医療機関や介護サービス事業所等に関する情報を、市のホームページにポータルサイトを設けて広く情報提供をした。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●まめネットについては、県が運営するセキュリティが確保された有効な通信手段であり、医療・介護連携の促進に資するよう、市としても具体的な活用策を事業者提案するなど利用拡大を図る必要がある。</li></ul> | 医療介護連携課 |



## 6. 人材育成都市の創造

### (1) 子ども・若者の育成・支援

#### ① 数値目標に対する達成度



R2年度末目標達成率

100%以上

60～99%

40～59%

39%以下

|                    | H27年度末実績値 | R1年度末実績値 | R2年度末実績値 | R3年度末目標値 | R2年度末目標達成率 |
|--------------------|-----------|----------|----------|----------|------------|
| 放課後子ども教室の実施箇所数(か所) | 20        | 21       | 18       | 25       | 0%★        |
| 放課後児童クラブ入会児童数(人)   | 1,821     | 2,218    | 2,301    | 2,054    | 206%       |

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

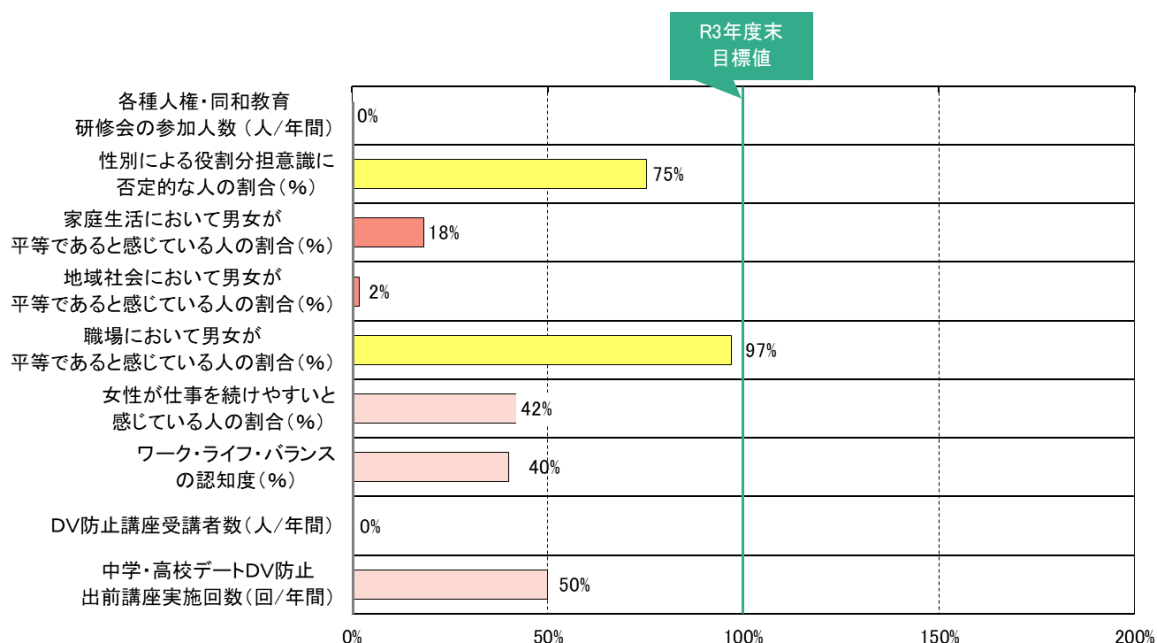
#### ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                             | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                               | 担当課                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| <b>【子育てに関する相談支援体制の充実】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に、子ども家庭相談室を設置。保健師や社会福祉士、心理士等を配置し、相談体制の充実を図った。</li> </ul>                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の取組を継続する。</li> <li>母子健康包括支援センターとさらに連携を図り、切れ目のない支援の充実を図る。</li> </ul>                                                                                 | 子ども政策課<br>健康増進課      |
| <b>【子育て支援サービスの充実】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て家庭の支援を行った。子育て短期支援事業は、里親委託ができるようにし、受け入れ体制を強化した。子どもの医療費助成について、就学前から中学生まで拡大した。</li> <li>病児・病後児保育事業を継続実施した。また、保育所等の施設を利用した小学生の放課後預かり事業を継続実施した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの医療費助成は、中学生まで完全無料化を望む声があり、検討していく。子育て支援センターやファミリーサポートセンター事業を継続する。</li> <li>病児保育、病後児保育ともに利用者数は増加傾向にあるため、継続して実施する。また、小学生の放課後預かり事業についても継続する</li> </ul> | 子ども政策課<br><br>保育幼稚園課 |
| <b>【保育サービスの充実】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>私立認可保育所において、保育士等の人員配置や施設整備への補助を行った。また、延長保育や一時預かり、障がい児保育などにこたえるための体制整備に対して支援を行った。</li> </ul>                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>入所未決定者の解消には至っていない。定員増加に伴う施設整備については、継続実施が必要。私立認可保育所等の体制や保育ニーズの変化に応じて、補助事業メニューの見直し等を検討していく。</li> </ul>                                                  | 保育幼稚園課               |

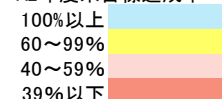
| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                               | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <p>【子ども・若者の育成・支援】</p> <p>●放課後子ども教室では、地域や団体の幅広い参画のもと、地域の特色を生かした体験活動等が積極的に実施された。</p> <p>●子育て短期支援事業は、里親委託ができるようにし、受入体制を強化した。また、子どもの医療費助成について、就学前から中学生まで拡大した。（再掲）</p> <p>●困難を抱える子ども・若者の相談支援を行った。令和2年度の延べ相談件数は1,820件。地域での見守り活動や体験・交流活動の充実に向けた取組への支援を行った。</p> | <p>●スタッフの高齢化や人材不足により活動の中止や開設に至らない地区もあった。地域全体で様々な人や団体が関わることができるよう個別に支援を行う。</p> <p>●子どもの医療費助成について、中学生まで完全無料化を望む声があり、検討していく。子育て支援センターやファミリーサポートセンター事業を継続する。</p> <p>●支援センターでの相談の中心は児童生徒の不登校と若者のひきこもりであり、長期化する傾向。地域での見守り活動や子どもの体験・交流活動は、担い手不足である。</p> | <p>教育政策課</p> <p>子ども政策課</p> <p>市民活動支援課</p> |

## (2) お互いを思いやり、尊重しあうまちづくりの推進

### ① 数値目標に対する達成度



R2年度末目標達成率



|                                | H27年度末実績値 | R1年度末実績値 | R2年度末実績値 | R3年度末目標値 | R2年度末目標達成率 |   |
|--------------------------------|-----------|----------|----------|----------|------------|---|
| 各種人権・同和教育研修会の参加人数 (人/年間)       | 7,880     | 8,416    | 4,830    | 8,000    | 0%         | ★ |
| 性別による役割分担意識に否定的な人の割合 (%)       | 61.7%     | 61.7%    | 71.7%    | 75.0%    | 75%        |   |
| 家庭生活において男女が平等であると感じている人の割合 (%) | 37.4%     | 37.4%    | 39.7%    | 50.0%    | 18%        |   |
| 地域社会において男女が平等であると感じている人の割合 (%) | 38.5%     | 38.5%    | 38.7%    | 50.0%    | 2%         |   |
| 職場において男女が平等であると感じている人の割合 (%)   | 33.5%     | 33.5%    | 39.8%    | 40.0%    | 97%        |   |
| 女性が仕事を続けやすいと感じている人の割合 (%)      | 25.0%     | 25.0%    | 31.3%    | 40.0%    | 42%        |   |
| ワーク・ライフ・バランスの認知度 (%)           | 63.5%     | 63.5%    | 66.1%    | 70.0%    | 40%        |   |
| DV防止講座受講者数 (人/年間)              | 374       | 474      | 356      | 400      | 0%         | ★ |
| 中学・高校デートDV防止出前講座実施回数 (回/年間)    | 10        | 10       | 11       | 12       | 50%        | ★ |

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

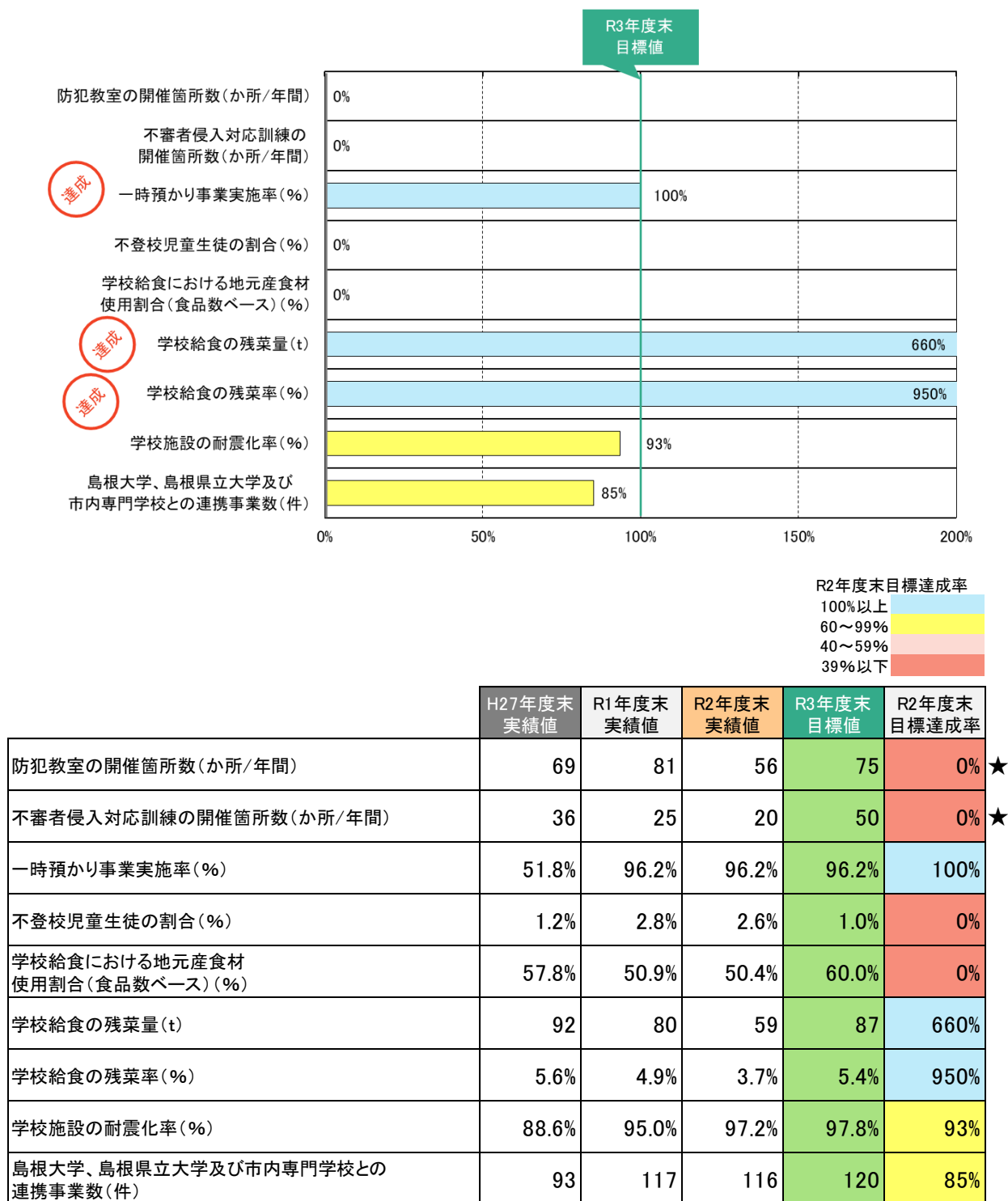
## ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <p>【人権施策の推進】</p> <p>●同和教育啓発指導員を派遣し、校内研修等の指導や助言を行っている。市内8校には、人権・同和教育推進員を配置し、学校や地域における人権同和教育を推進している。各小中学校に人権・同和教育主任を置き、人権同和教育の推進と当該主任を対象とした研修会を開催している。人権作文・ポスターコンクールの開催や、パンフレット「こころつないで」の配布により、家庭での人権意識の高揚を含め、啓発を行っている。</p> <p>●出雲市人権施策推進基本方針に基づき、学校や家庭、職場、地域など、あらゆる場において、人権教育及び啓発を推進してきた。</p> <p>コロナ禍においても、感染予防対策により参加人数の規模を縮小しながらも、各種研修会を着実に実施してきた。</p> <p>【男女共同参画の推進】</p> <p>●出雲市男女共同参画センターを中心に、学校・地域・企業等への出前講座や各種講座を実施した。</p> <p>【いじめや虐待の防止とDV対策】</p> <p>●児童虐待防止のため、関係機関との連携、虐待予防の意識啓発等を実施した。</p> <p>●デートDV防止出前講座は、令和2年度は14回、1,736人が受講された。また、女性相談窓口でDV等は、令和2年度の相談件数2,320件中、DV相談は529件であった。</p> | <p>●引き続き、取組を進めていく。</p> <p>●これまで実施してきた、各種人権課題に関する啓発への取組は今後も継続しながら、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別、インターネットを利用した人権侵害など、新たな人権課題に取り組む必要がある。</p> <p>●性別役割分担意識は未だ30%弱あり、啓発事業をより推進する必要がある。ひとり親、高齢者、障がい者、及び外国人等が安心して暮らせる環境の整備に重点的に取り組む。男女共同参画の視点で、防災・減災、災害に強い社会の実現に取り組む。</p> <p>●虐待や支援の必要な家庭の背景には、複合的な課題（孤立化、障がい、貧困、DV、離婚や転居による養育環境の変化など）が多くみられ、これまで以上に関係機関と連携した支援や啓発に取り組む必要がある。</p> <p>●若年層への啓発が重要であり、デートDV防止出前講座を積極的に推進する。また、DV相談は内容が複雑化しており、関係機関との連携強化が必要。</p> | <p>学校教育課</p> <p>人権同和政策課</p> <p>市民活動支援課</p> <p>子ども政策課</p> <p>市民活動支援課</p> |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                             | 課題と次期計画における方向性                                                            | 担当課            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <p>【いじめや虐待の防止とDV対策】</p> <p>●児童生徒個々の意欲や満足感及び学級集団の状態のアンケート調査を年間2回実施し、いじめ・不登校等の未然防止と早期発見・早期対応を図っている。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制の充実を図っている。</p> | <p>●各事業を継続実施する。なお、青少年の非行の状況が全体的に落ち着いていることから、警察や少年補導職員と連携した活動は実施していない。</p> | <p>児童生徒支援課</p> |

### (3) 生きる力と夢を育む教育体制の充実

#### ① 数値目標に対する達成度



★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

## ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                             | 担当課                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| <p>【教育行政の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全小中学校に地域学校運営理事会を設置し、学校運営の成果や課題について理解を深め、家庭・地域・学校が連携・協働した活動の充実を図るための協議を実施している。</li> <li>●出雲市子ども安全センターが保育園、幼稚園及び小・中学校等で防犯教室、不審者対応訓練及び防犯に関する職員研修を実施している。</li> <li>●情報モラル教育や、保護者、教員を対象としたネットトラブル対応研修会を開催している。</li> <li>●通学路安全推進会議を開催し、通学路の危険箇所の対策について情報共有している。</li> <li>●部活動の休養日及び活動時間を設定し、中学校及び保護者に周知した。地域指導者、部活動指導員を配置している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域学校運営理事会の役割についての理解や取組について差があり、研修会等を通して、役割や目指す方向性について共通理解を図る。</li> <li>●令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、防犯教室等を中止した学校があった。</li> </ul>                                     | <p>教育政策課</p> <p>児童生徒支援課</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園運営協議会を設置し、地域に開かれた幼稚園づくりを推進した。また、出雲市立出東幼稚園は社会福祉法人に譲渡し、幼保連携型認定こども園である出東こども園を開園した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園全体の在籍児童数は減少傾向にあり、各幼稚園における規模の維持や教育の質の向上が引き続き求められる。最適正規模化に向けた検討を行う。幼稚園運営協議会については、継続していく。</li> </ul>                                                               | <p>保育幼稚園課</p>               |
| <p>【幼児教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼児教育指導員と幼児早期支援相談員による幼稚園への巡回訪問や研修を実施した。</li> <li>●幼稚園児を対象とした一時預かり事業（幼稚園型）を市内全幼稚園に拡大した。</li> <li>●幼稚園に特別支援補助教諭や幼稚園ヘルパーを配置した。</li> <li>●今市幼稚園及び中央幼稚園を特別支援拠点園とし、職員を配置し積極的な園児受入れを実施した。</li> </ul>                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援について、早期の支援が重要。ニーズに応じた研修の実施や、幼児教育指導員及び幼児早期支援相談員の配置・巡回相談等は引き続き必要。一時預かり事業は全幼稚園で実施しているが、順次、預かり時間を拡大し、全園で長時間預かりを実施する。</li> <li>●特別支援拠点園のあり方や、拡充について検討する。</li> </ul> | <p>保育幼稚園課</p>               |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                          | 担当課          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| <p>【義務教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育指導員による学校訪問の実施、学力向上研修講座（＋１講座）の開催、啓発・研修資料の作成・活用を通して教職員の資質向上を図っている。「家庭学習の手引」により、保護者・児童生徒・教員が一体となった家庭学習の習慣化を推進した。英語指導助手（ＡＥＴ）、外国語指導助手（ＡＬＴ）を派遣した。</li> <li>●全ての小中学校に学校司書または、読書ヘルパーを配置し、図書館の活用を促すとともに学校図書館支援センターと連携した研修会を開催した。</li> <li>●小・中学校児童生徒１人１台のタブレットＰＣの整備や大型モニターの設置などＩＣＴ機器を活用した学習の環境を整えた。</li> <li>●小学校・幼稚園・保育所等では保幼小連携担当者を設置し、教職員相互の連携協力体制を整えた。「出雲市保幼小交流の日」では、交流活動の実施、子育て支援情報の発信など保幼小連携の充実を図っている。</li> <li>●学校と家庭が連携して、児童生徒の体力向上・体づくりを進めている。</li> <li>●外国にルーツのある子どもたちに、日本語初期集中指導教室で来日間もない児童生徒への指導をすすめている。日本語指導拠点校を設け指導体制を整えた。</li> <li>●地域で活躍している人を講師に、話を聞いたり、体験活動等を行ったりする活動の充実を図った。</li> <li>●全ての小中学校で放課後の時間を活用した自習教室を開設し、地域の方が学習支援員として関わっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校図書館システムの統一化については、費用対効果を含めて、今後の検討課題とする。</li> <li>●上記の課題の検討を含めて、引き続き、取組を進めていく。</li> </ul>                                                                                                       | <p>学校教育課</p> |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員が地域資源について、学ぶ機会が少なく、学習内容が固定化する傾向がある。</li> <li>●社会科副読本「わたしたちの出雲」を活用した教職員対象の研修会を実施し、各学校の実態に応じた取組への見直しを行う。</li> <li>●学習支援員不足等から実施を見送ったり、実施回数を減らす学校があった。各学校の実態に応じた取組ができるよう実施方法の見直しを行う。</li> </ul> | <p>教育政策課</p> |

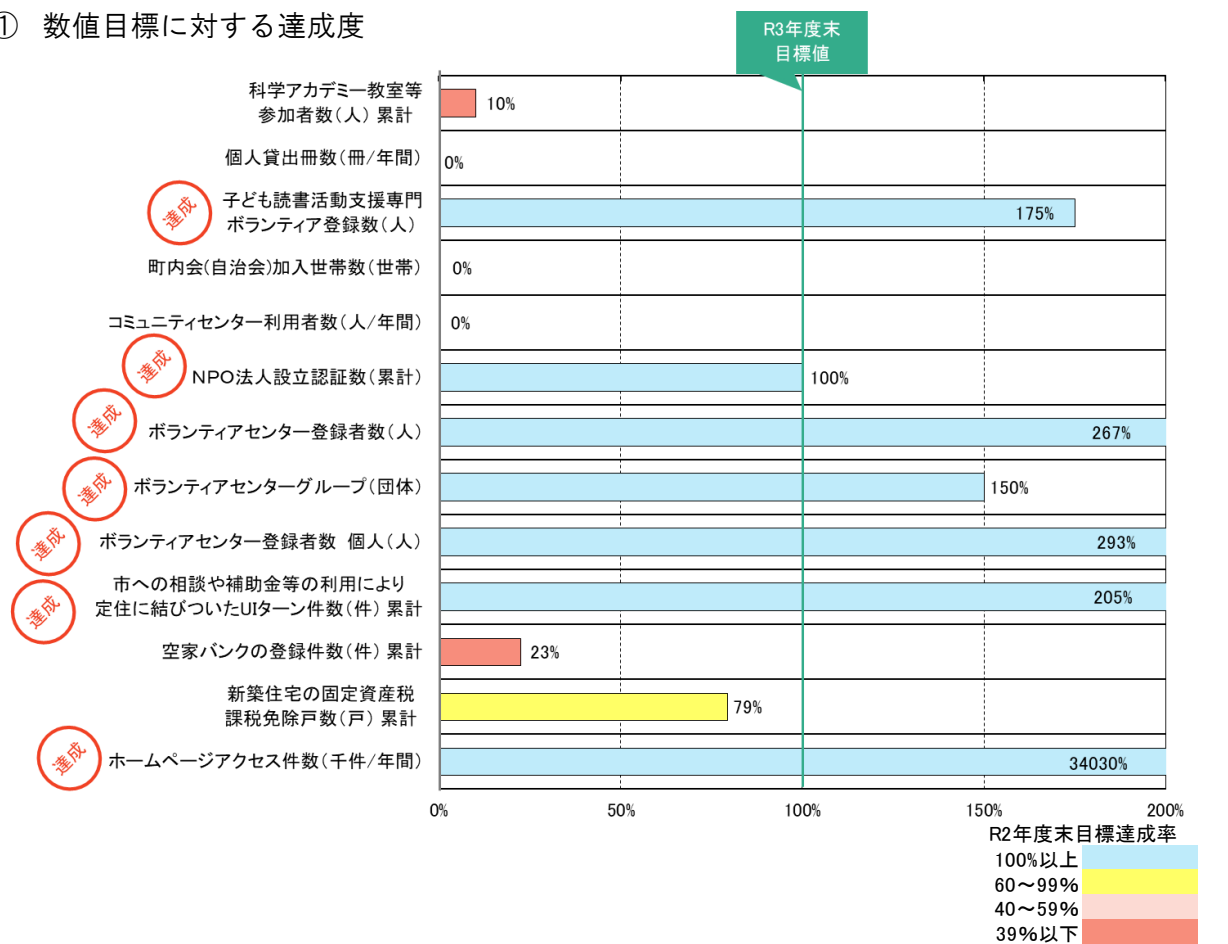


| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <p>【義務教育の充実】</p> <p>●特別支援教育指導員や心理相談員による学校への指導助言と児童生徒の発達検査等を行った。各学校では特別支援コーディネーターを指名し、取組の充実を図っている。さらに、通級指導教育指導員、通級指導ヘルパーを配置して、指導体制の充実を図っている。</p> <p>●日常的に介助を必要とする児童生徒への支援に、特別支援介助者の配置、また、学習や生活の面で特別な支援を必要とする児童生徒には、特別支援教育補助者を配置している。</p> <p>●児童生徒調整員を配置し、不登校の児童生徒が教育支援センター及び不登校対策指導員等の適切な支援を受けることができるよう連絡・調整を行っている。</p> <p>●不登校対策指導員を配置し、家に閉じこもりがちな児童生徒の家庭訪問、支援を行っている。</p> <p>●不登校児童生徒の将来的な社会的自立や学校への復帰に向けて、3つの教育支援センターで支援を行っている。各学校では不登校対策コーディネーター、小・中合わせて20校には不登校相談員を配置し、早期発見・早期対応や未然防止に資している。</p> <p>●学校では実施体験できない独創的な体験学習、実験を中心とした理科学習の実施や、指導力・授業力の向上を図った。</p> | <p>【義務教育の充実】</p> <p>●発達障がい等通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の割合は増加傾向にある。</p> <p>●発達支援に係る庁内推進会議を開催し、乳幼児期からの一貫した支援のための情報共有を図っている。また、相談機能の充実が図られてきていることから、健康福祉部門と連携した複合施設の整備は行わない方向である。</p> <p>●不登校の低年齢化や長期化により、不登校児童生徒が増加傾向にある。引き続き各事業及び人員配置を行う。</p> <p>●引き続き、取組を進めていく。</p> | <p>児童生徒支援課</p> <p>児童生徒支援課</p> <p>出雲科学館</p> |
| <p>【学校給食の充実】</p> <p>●「安全・安心なおいしい給食」の提供に努めた。</p> <p>●老朽化した施設の改築や、学校給食センターを再編した。</p> <p>●学校給食会については、学校給食費公会計化にあわせて検討を行った。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>●地元産食材の使用について、小規模給食センター廃止により目標達成が難しくなった。</p> <p>●引き続き「安全・安心なおいしい給食」の提供に努めていく。地元産食材の使用については、マッチング会議等を活用し、新たな目標達成に向け取り組む。</p>                                                                                                                                  | <p>学校給食課</p>                               |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <p>【学校施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震化対策は、令和2年度に耐震補強が完了した。耐震改築（建替え）については、現在着手している。（4校5棟）</li> <li>●児童・生徒数の増加に伴う校舎増築を実施した。</li> <li>●普通教室へのエアコン整備は令和元年度に完了し、特別教室については、基準室への設置を令和2年度に完了した。</li> <li>●トイレ洋式化については、令和3年度に整備目標が達成できる見込みとなった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和5年度に耐震化率100%を達成するとともに、令和6年度に解体や校庭復旧を含めた事業完了を目指す。</li> <li>●社会増による児童・生徒数の動向を注視しながら、必要な校舎増築を実施する。</li> <li>●20年を経過したエアコンが管理諸室で51%、特別教室で25%あり、早急な取替が必要である。</li> <li>●教育環境の質的向上や避難所施設としての機能確保のため、年次的にバリアフリー対策工事を実施していく必要がある。</li> <li>●長寿命化計画に基づき、財政計画と調整を図りながら、改築事業や改修事業に取り組んでいく。</li> </ul> | 教育施設課 |
| <p>【高等学校・大学等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●島根大学医学部、島根県立大学出雲キャンパス及び出雲医療看護専門学校の各校と出雲市では包括的連携協定を締結しており、学校から指導者や講師の派遣や学校と協力した共同事業に取り組んでいる。</li> </ul>                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●お互いのニーズとシーズを確認し、新たな連携に繋げ、また、市政運営に反映させていく。</li> <li>●令和3年度には、出雲医療看護専門学校で新学科が設置されており、新たな分野における連携も期待できる。</li> </ul>                                                                                                                                                                            | 総務課   |

## (4) 地域を支えるひとづくりと住民参画の推進

### ① 数値目標に対する達成度



|                                      | H27年度末<br>実績値 | R1年度末<br>実績値 | R2年度末<br>実績値 | R3年度末<br>目標値 | R2年度末<br>目標達成率 |   |
|--------------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|---|
| 科学アカデミー教室等参加者数(人)累計                  | 188,967       | 178,820      | 195,197      | 250,000      | 10%            | ★ |
| 個人貸出冊数(冊/年間)                         | 1,280,032     | 1,186,020    | 1,060,729    | 1,300,000    | 0%             | ★ |
| 子ども読書活動支援専門ボランティア登録数(人)              | 42            | 59           | 56           | 50           | 175%           |   |
| 町内会(自治会)加入世帯数(世帯)                    | 40,939        | 39,834       | 39,429       | 41,000       | 0%             |   |
| コミュニティセンター利用者数(人/年間)                 | 792,054       | 758,783      | 474,858      | 800,000      | 0%             | ★ |
| NPO法人設立認証数(累計)                       | 55            | 59           | 60           | 60           | 100%           |   |
| ボランティアセンター登録者数(人)                    | 21,772        | 24,551       | 24,672       | 22,860       | 267%           |   |
| ボランティアセンターグループ(団体)                   | 258           | 276          | 276          | 270          | 150%           |   |
| ボランティアセンター登録者数 個人(人)                 | 366           | 404          | 407          | 380          | 293%           |   |
| 市への相談や補助金等の利用により定住に結びついたUIターン件数(件)累計 | 198           | 445          | 510          | 350          | 205%           |   |
| 空家バンクの登録件数(件)累計                      | 118           | 107          | 132          | 180          | 23%            |   |
| 新築住宅の固定資産税課税免除戸数(戸)累計                | 2,036         | 4,179        | ※ 4,179      | 4,736        | 79%            |   |
| ホームページアクセス件数(千件/年間)                  | 3,263         | 3,673        | 6,666        | 3,273        | 34030%         | ★ |

※注記： H31 年 4 月時点の数値

★は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

## ② 評価検証の概要

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                            | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <p>【生涯学習の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域課題の解決や社会のニーズに対応した生涯学習講座を開催した。特に、本市の特性である出雲神話をはじめとした「出雲国講座」を実施した。</li> <li>●育児不安の軽減に向け、全戸訪問、産後ケア事業、養育支援訪問等を実施、子育てサポーターの育成・配置やコミセンごとの学習支援などを行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の学習成果をボランティア活動や地域活動に活かせるように、出雲市総合ボランティアセンターと連携して進めていく。</li> <li>●地域課題の解決に対応した生涯学習講座の開催や、地域の特性・歴史などを学ぶ講座を一層充実させる。</li> <li>●関係団体や大学等の機関と協力・連携強化により、生涯学習事業の場を広げる。</li> </ul>                             | 市民活動支援課 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内43コミュニティセンターにおいて、住民主体のまちづくり事業として企画される「コミュニティセンター自主企画事業」を支援した。</li> </ul>                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各地域の特性を生かした取組が活発化するように、引き続き、コミュニティセンター間の連携を図りながら進めていく。</li> </ul>                                                                                                                                        | 自治振興課   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内7つの図書館のいずれの図書館でも貸出し・返却ができるよう資料を一元的に管理し、利用者サービスの向上を図ることができた。</li> <li>●子どもの読書活動については、図書館を核として、家庭、学校、地域の読書ボランティア等が連携・協力して推進に努めた。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●インターネット等の普及により、個人貸出冊数（年間）は減少している。7館の連携、市役所各課・関係機関とのタイアップによる企画展示を実施するなど、新たな取組も取り入れながら、図書館の機能拡充を図っていく。</li> <li>●子ども読書活動を支援する専門ボランティアは、学校等からの依頼が増加傾向にあるため、更なる育成・確保が課題。子どもの発達段階に応じて子ども読書活動を推進する。</li> </ul> | 出雲中央図書館 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●科学に関する「実験やものづくり教室」や企画展、講演会等により、興味・関心に応じた学習機会の提供を行った。</li> </ul>                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き取組を進める。</li> </ul>                                                                                                                                                                                   | 出雲科学館   |

| 取組内容と達成状況                                                                                                                                                                                                               | 課題と次期計画における方向性                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当課                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| <p>【コミュニティ活動と市民協働の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民団体との協働事業を促進するため、市民協働事業補助金交付や、指導・支援を行った。ボランティア団体の活動を支援するとともに、ネットワークの充実に努めた。</li> <li>●自治会加入促進の取組として、補助事業による支援や加入促進啓発を行った。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●協働事業補助金のさらなる活用を進めていく。総合ボランティアセンターを中心に情報の収集や紹介、人材育成等の更なる拡充に努める。</li> <li>●また、活動の多様性や自主性を尊重し、活動の発展を促進するためのネットワークづくりなどの支援を行う。</li> <li>●新たな世帯の加入促進が進まない上に、高齢により役員が担えない等の理由による自治会脱退が年々増加している。</li> <li>●専門家のアドバイスを受けながら、自治会運営の見直しを促していく。</li> </ul> | <p>市民活動支援課</p> <p>自治振興課</p> |
| <p>【定住対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●UIターン者のニーズが多様化している中、効果的な支援や情報提供等の施策を展開した。</li> <li>●新築住宅建設における固定資産税の課税免除制度を創設。新築件数の増加は堅調に推移し、一定の成果を確認したので、平成31年1月1日新築分までで終了した。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●後期計画の目標値は達成したが、今後も移住・定住を促すための有効な施策を展開できるよう努めていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                     | <p>縁結び定住課</p> <p>資産税課</p>   |
| <p>【広報広聴機能の充実と市民参画の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報紙の発行のほかホームページやSNSを通じ、必要な情報を発信した。</li> <li>●「市長ポスト」「市長とふれあいトーク」「まちづくり懇談会」などにより市政に対する意見等を聴取した。</li> <li>●広報広聴機能の充実を図り、市民が主役のまちづくりの推進に努めた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSは、閲覧者数が減っているものもあるため、内容の充実を図る。</li> <li>●「市政提案」「市長とふれあいミーティング」「市長とまちづくりミーティング」などにより、市民の市政参加と各種施策への意見反映を図っていく。</li> </ul>                                                                                                                      | <p>広報課</p>                  |